

# 平成23年度中小企業金融実態調査結果概要

平成23年8月17日  
富山県商工会連合会

## I. 調査目的

県下商工会地区における小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

## II. 調査対象および方法

商工会地区の中小企業（特に小規模事業者）のうち、1130企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

## III. 調査時期および実施期間

調査書記入時点	平成23年7月1日 現在
調査実施期間	平成23年7月4日～7月15日

## IV. 回答状況

調査対象企業数	1130社
回答企業数	1035社（回収率91.6%）

## V. 調査結果の概要

売上高については年間売上高の増加企業の割合は増加したが、今後の売上高は71%が減少を予想しており、景況への先行き警戒感が強い。本年10月～12月の資金繰りでは、苦しくなると予想した企業の割合が増加した。苦しくなる原因は、売上高予定額未達、利益予定額の未達を挙げる割合が多く、「借入返済額が大きい」を苦しくなる原因と捉える割合は増加傾向にある。

今後1年間に借入計画があるとする企業の割合は27.1%と前回調査対比で0.7ポイントと微増している。設備資金は「車両等の購入」「工場・店舗等の補修・改修」は増加しているが、「製造機器・ラインの増設」は低下し、生産（営業）活動維持に必要な投資を優先して、営業方針に苦慮している傾向が見られる。

金融円滑化法が施行されているが、借入金の条件変更難易度は「容易である」「交渉次第で何とかなる」の回答が前回比5.8ポイント減少し、難易度の改善が見られない。

東日本大震災の影響については、影響を受けた割合が56.2%と半数を超えたが、資金繰りへの影響は「ほとんど変化はない」が74.7%を占め、「悪化した」は17.5%に止まった。業種では飲食・宿泊業で予約等の回復が遅れている状況にある。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点（前回22年7月調査時点との比較）

### 1. 企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高については、増加した企業の割合が、前回比11.0ポイント増加し、減少した企業の割合は10.4ポイント減少した。採算状況については、黒字企業が2.2ポイント減少し、赤字企業も2.4ポイント減少、収支とんとんが増加した。
- (2) ここ1年間に、元請等との取引条件の変更状況は、33.0%の企業が元請等との取引条件に変化があり、業種では建設業、製造業の順で多く見られた。
- (3) 10～12月の資金繰り予想では、苦しくなるは2.5ポイント増加し42.0%となった。楽になるは1.7ポイント減少し、資金繰りは悪化傾向にある。苦しくなる業種では、運輸業、建設業の順で高い。苦しくなる要因として、「売上高予定額未達」と「利益が予定に達しない」の割合が圧倒的に高く、前回調査に続き共に50%を超えている。「借入返済額が大きい」は増加傾向にあり、22.5%に達した。
- (4) 今後の売上高予想については、減少すると回答した割合が全体の71.0%を占め、業種別では飲食・宿泊業、小売業、サービス業の順で減少する割合が高くなっている。今後の売上高予想を厳しく見ている割合が高いと窺える。

### 2. 金融機関との取引及び借入状況について

- (1) 最近6ヶ月間の借入申し込み状況は、「した」が3.3ポイント増加し47.7%となった。また借入額では、前回調査より1000万円未満で3.8ポイント減少し、1000万円～3000万円未満で2.2ポイント増加した。また5000万円超の借入企業は前回比3.4ポイント増加し、階層によって二極化している。また借入なしの企業は1.1ポイント減少し、全体の14.5%となった。  
借入金利については、「借入金利2%未満」の層は、8.2ポイント増加し33.4%に達した。また3%超では2.6ポイント減少し金利は低下傾向にある。  
借入に対する満足度については、満足と回答した企業の割合は88.3%であり、前回対比で4.8ポイント増加し、不満・謝絶の回答は4.4ポイント減少した。
- (2) 預金は、昨年6月に比べ増加した企業が1.0ポイントと2年連続して増え、減少した企業は1.9ポイント減少した。
- (3) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が3.6ポイント減少し2年連続して低下した。「貸し渋り」の内容は「保証協会の付保」が前回調査比で5.2ポイント増加し72.3%に達している。次いで「追加融資不可」「審査期間の長期化、資料の増加」「金額査定減」の順に多くいずれも50%を超えている。
- (4) 借入返済の条件変更は、「希望する」企業が3.7ポイント減少している。

- 希望する条件変更は「返済期間の延長」「元金返済の一時据置（猶予）」の順に多く、希望する理由は「借入返済額が過重」「売上高の急激な減少」が主要因となっている。
- (5) 借りにくい、借りられない理由では、「借入残高が多い」とする回答が3年連続して増加し、「業績が思わしくない」を含めた2項目が30%を超えて理由の主な要因となっている。
- (6) 今後の借入計画（1年間）では、「ある」と回答した企業は0.7ポイント増加し、「ない」と回答した企業は1.4ポイント減少した。うち設備資金では、「車両等の購入」「工場・店舗等の補修・改修」が増加し、生産（営業）活動維持に必要な投資を計画している。
- (7) 借入を考える場合の懸念事項においては、「借入後の返済力」は前回調査比と同率の97.5%となった。次いで「業況の先行見通し難」が76.9%と2項目は引続き高い回答となった。
- (8) 経営が著しく悪化した場合の相談先に41.0%の企業が「商工会」を挙げており、次に28.6%が「民間の金融機関」、16.2%が「税理士」の順となっている。

### 3. 制度融資について

- (1) 制度融資の過去1年以内の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は0.3ポイント、「利用がない」は0.2ポイントそれぞれ減少した。
- 制度融資について、申込手続きや審査の簡素化、保証料の軽減を求める等の意見が前回同様に寄せられている。
- (2) 国や県、市町村の融資制度は、「経営の役に立っている」と回答した企業は96.7%を占めた。一方で「利用しなかった理由」として、「融資の条件に合致せず」「手続きが面倒だから」が5%台へ増加した。
- (3) 国や県・市の緊急制融資の活用は、「今後活用を検討している」の割合が共に0.9ポイント低下し、融資条件の緩和等を求める意見が寄せられている。

### 4. 最近の諸制度について

- (1) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入した以降の問いに対し、最近1年間に保証協会付で借入をした割合は、前回比較で0.4ポイント減少した。
- 「円滑に保証をうけられた」は66.4%、「少し難しかった」は27.9%、「円滑でなく難しかった」は3.9%と回答している。
- 金融機関の融資態度の変化については、「あまり変化はなかった」は7.5ポイント減少して52.6%、「従来よりも提出書類が増え、融資実行まで時間を要するようになった」は2.3ポイント増加して25.0%、「金融機関の審査が厳しくなった」は1.7ポイント増加し15.6%と回答している。金融機関の融資態度に変

化があったとした回答が「金利が高くなった」を含めて増加した。

## 5. 東日本大震災の影響による原材料の調達や販売・予約状況等の影響について

(1) 震災の営業への影響については、影響を受けた企業の割合は全体の56.2%と半数を超え、「取引先の被災や交通網・物流システムの混乱によって、原材料や商品等の調達に支障があった」が36.3%、次いで「風評被害や自粛ムードなどによって、売上げの減少や予約のキャンセルがあった」は16.2%であった。「影響がほとんどなかった」は34.8%であり、対象業種ではサービス業が45.3%と最も高かった。

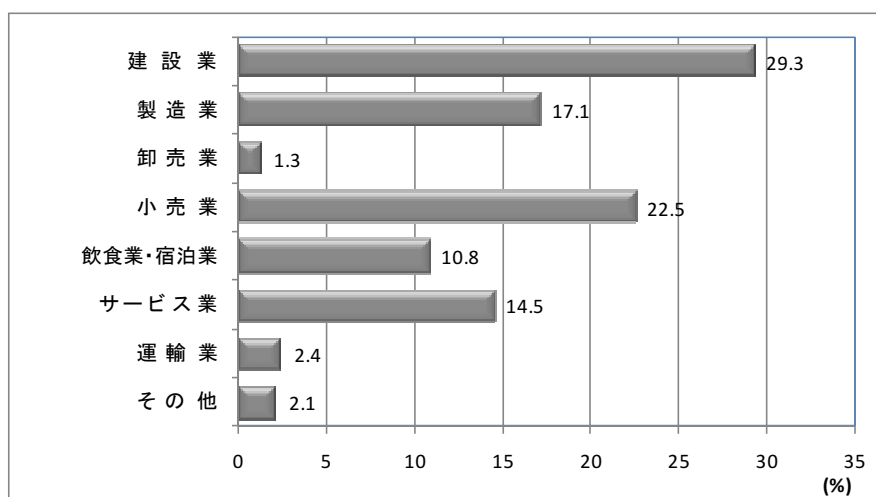
(2) 資金繰りへの影響については、「ほとんど変化はない」と回答した割合は74.7%を占め、「悪化した」は17.5%に止まった。

(3) 現在の営業状態や設備の稼働状況・予約状況については、「ほぼ平常通りに回復」が27.2%になった一方で、「50~80%程度」「50%以下」は合わせて22.4%となり、業種では飲食・宿泊業で35.8%と回答し影響割合が最も高い。

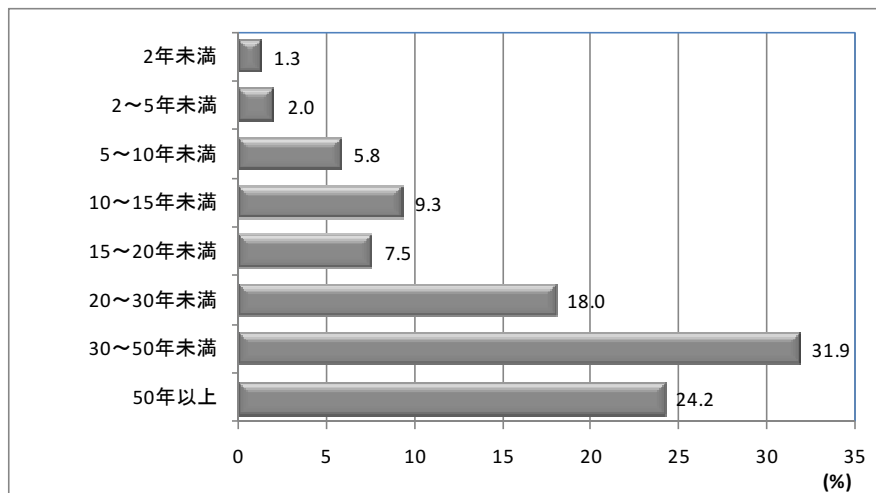
## 調査結果（%=構成比）

### 1 回答企業の概要

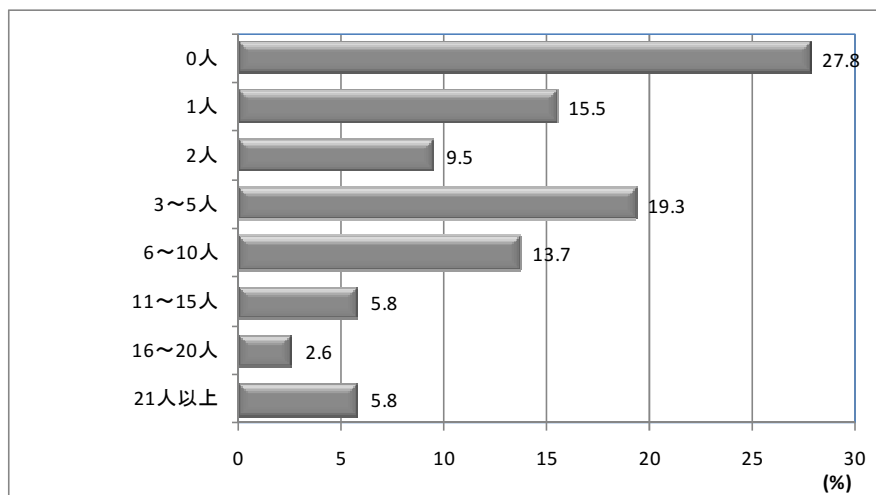
#### (1) 業種



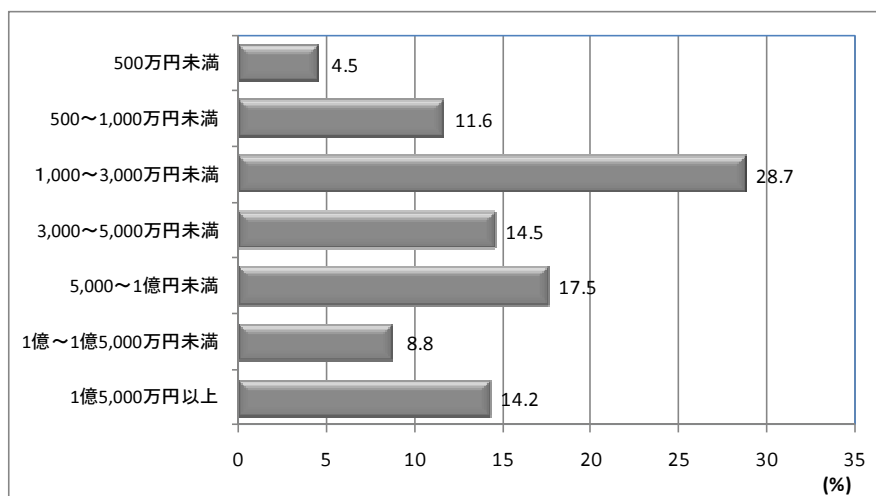
## (2) 創業してから何年



## (3) 常用従業員数



## (4) 年間売上高

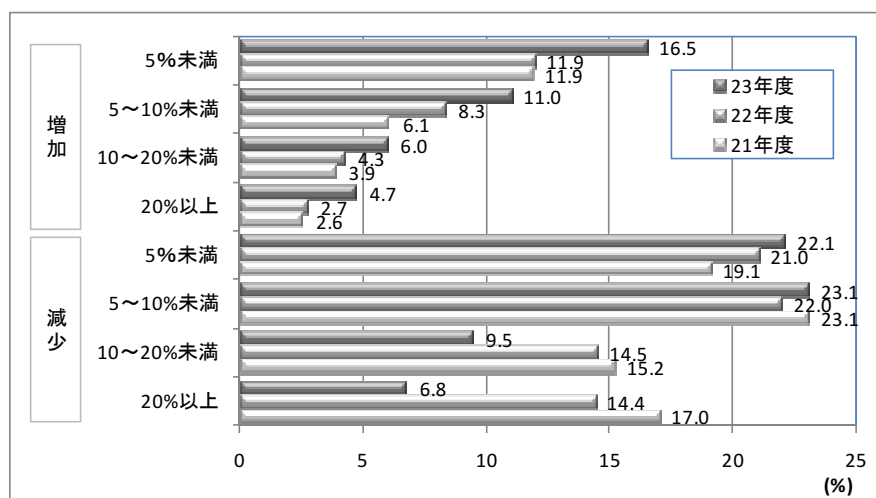


## 2 営業の状況

### (1) 年間売上高の増減率（対前年同期比）

年間売上高の増加企業は、全体で38.2%となり前回調査より11.0ポイント増加した。これを業種別に見ると、卸売業で53.9%、運輸業で52%が増加と回答。さらに規模別では、16~20人、21人以上で50%を超えている。

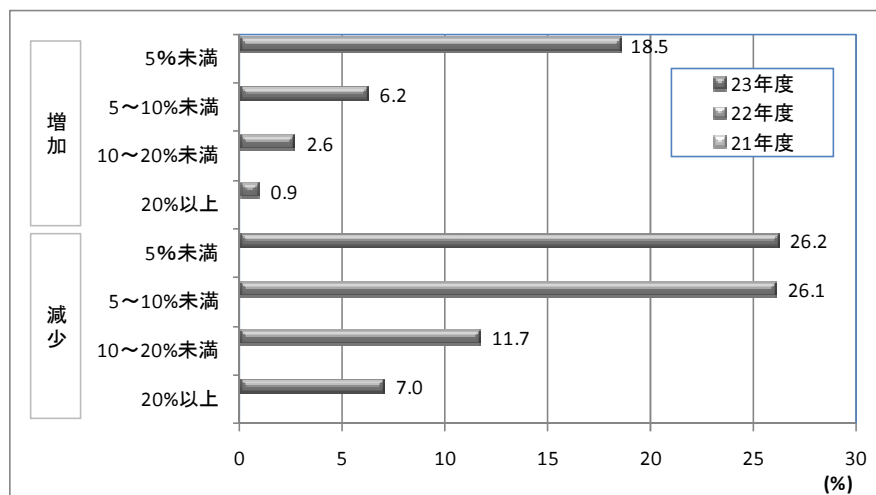
売上減少は全体で61.5%となり前回調査に比べ10.4ポイント減少した。業種別にみると、飲食・宿泊業、小売業、サービス業の順で減少率が高い。従業員規模では、0人、1人、3~5人の規模で減少率が高くなっている。



### (2) 今後の売上高予想

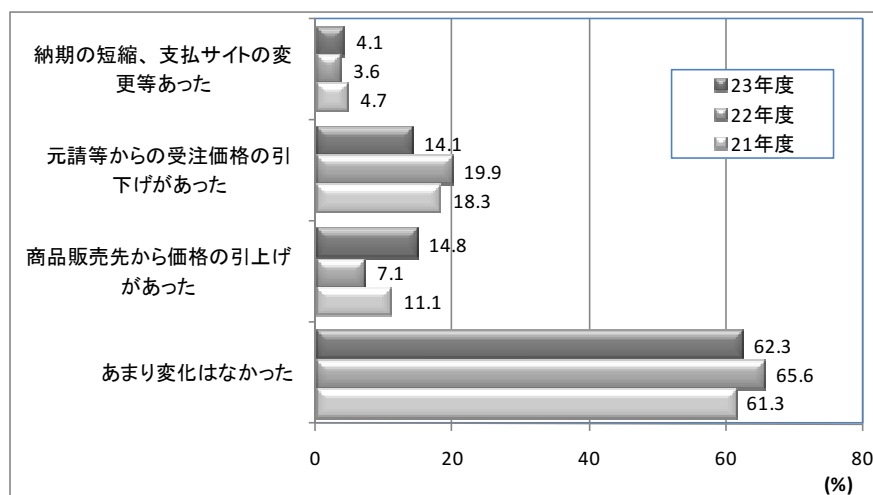
今後の景気の先行きを踏まえた売上高予想を聞いた質問に対して、減少すると回答した割合は全体の71.0%を占めた。

業種別に見ると、飲食・宿泊業で80.4%、小売業で79.9%、さらにサービス業、運輸業の順で減少すると回答している。売上高が増加すると回答した割合は全体の28.2%に止まった。これを業種別に見ると製造業で41.8%、規模別では、21人以上で43.4%と増加を予想をしている。



### (3) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品販売先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況では、62.3%があまり変化はなかったと回答。一方で33.0%の企業がなんらかの取引条件の変更を強いられていると回答し、前回比較では取引条件の変更があったは2.4ポイント増加した。



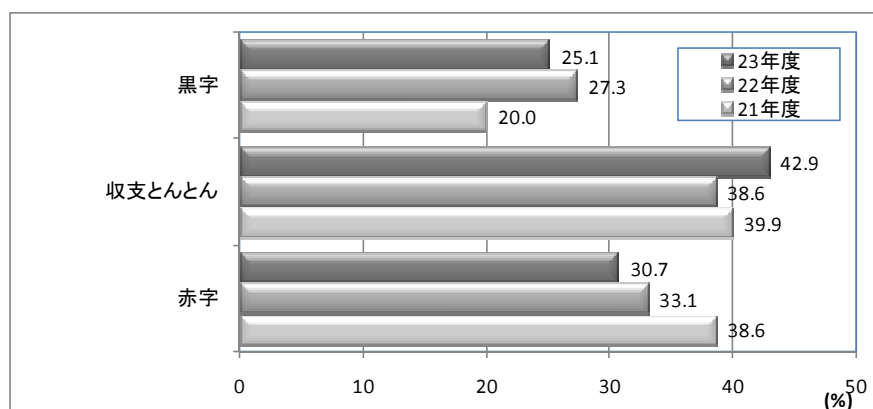
### (4) 採算の状況

#### ア、現在の採算状況

黒字と回答した割合は25.1%と前回から2.2ポイント減少した。赤字と回答した割合は30.7%と前回から2.4ポイント減少し、収支とんとは前回より4.3ポイント増加した。

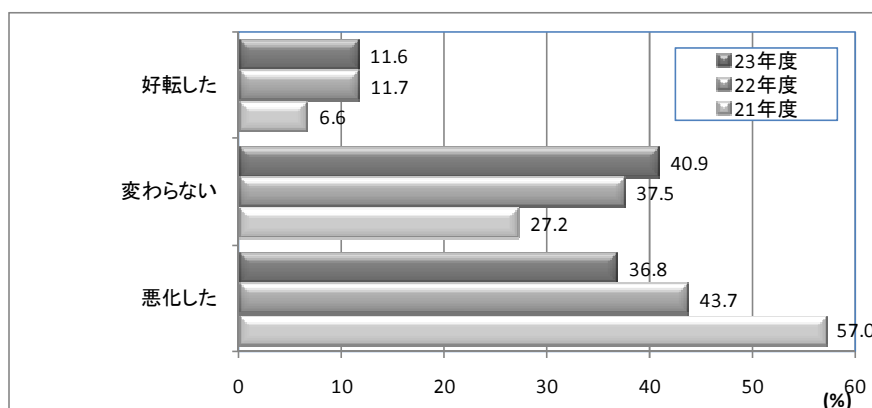
黒字企業を業種別にみると製造業で高く、赤字企業では卸売業、運輸業、建設業は前年と同順位となり同業種は採算状況の厳しい状況が続いている。

また従業員別での黒字企業は、11~15人、21人以上、3~5人の順で比率が高く、赤字企業は、2人、16~20人、6~10人の順で高い。



## イ、採算状況（対前回比較）

採算状況を前回と比較すると、「好転した」が0.1ポイントと微減した。「悪化した」が6.9ポイント減少し、最近5年間では最も低くなった。変わらないは3.4ポイント増加した。業種別では、製造業の「好転した」比率が高くなっている。

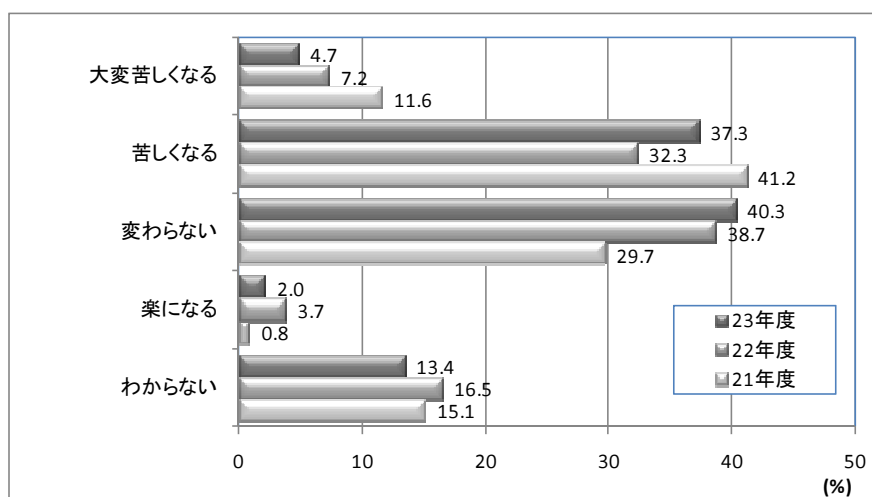


## (5) 資金繰り状況

### ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より2.5ポイント増加した。「変わらない」が1.6ポイント増加して40.3%。「楽になる」は前回より1.7ポイント減少した。資金繰りが悪化すると予想する企業の割合が増え、今後の業績への懸念を抱いている。

「苦しくなる」を業種別でみると、運輸業、建設業の順で比率が高くなっている。



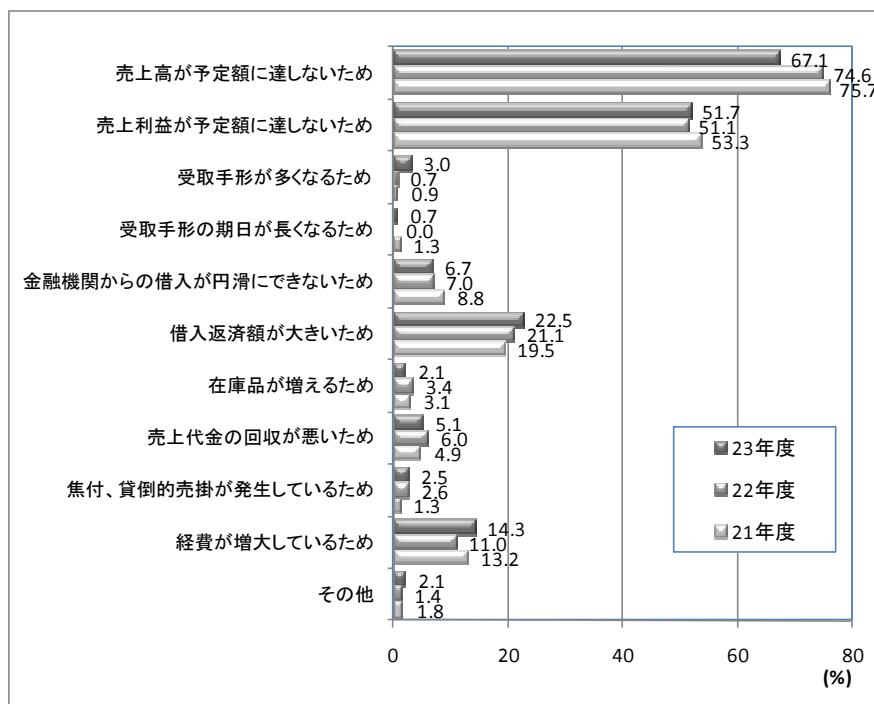


### イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予定額に達しない」と「売上利益が予定額に達しない」の割合が圧倒的に高く、前年に続きともに50%を超えている。

「借入返済額大きい」は3年連続して比率が増加し22.5%になる。

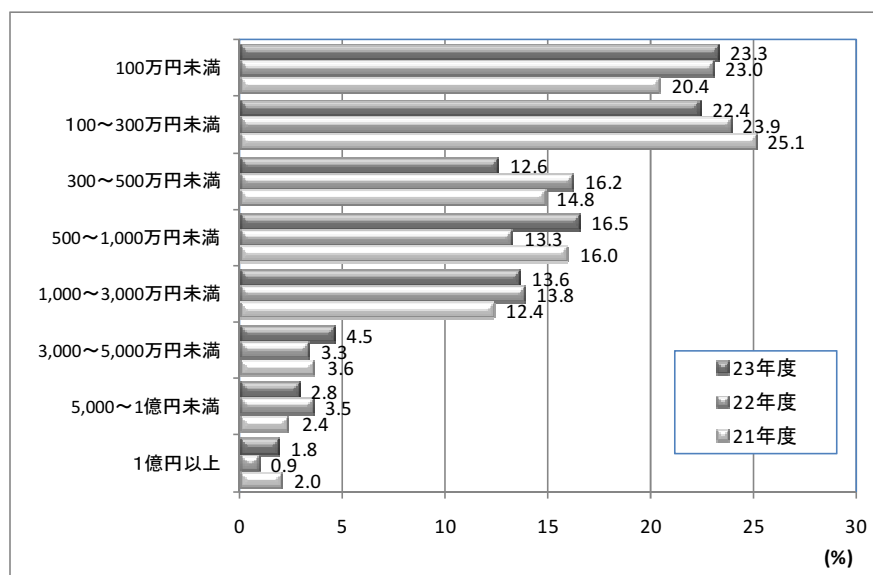
その他の原因では、売上不振、修繕費用の増加、受注単価が安い、手形決済が重荷、受注工事が長期、設備投資の負担増加などがあつた。



### 3 金融機関との取引状況 等

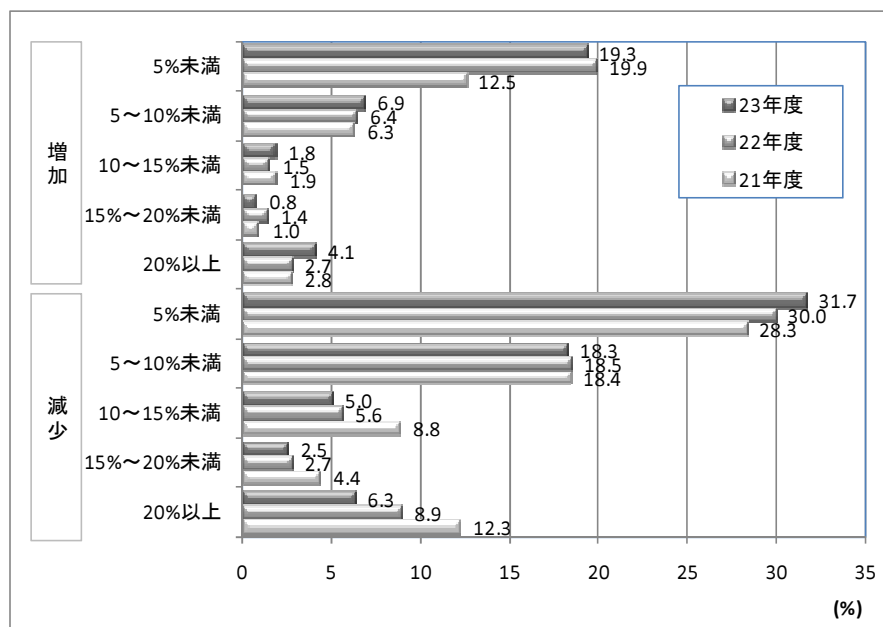
#### (1) 本年6月末預金高はどれくらいありましたか

前年と比較すると、500万円未満の割合が4.8ポイント減少し、500万円超が4.4ポイント増加している。



## (2) 昨年の6月と比べ預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。

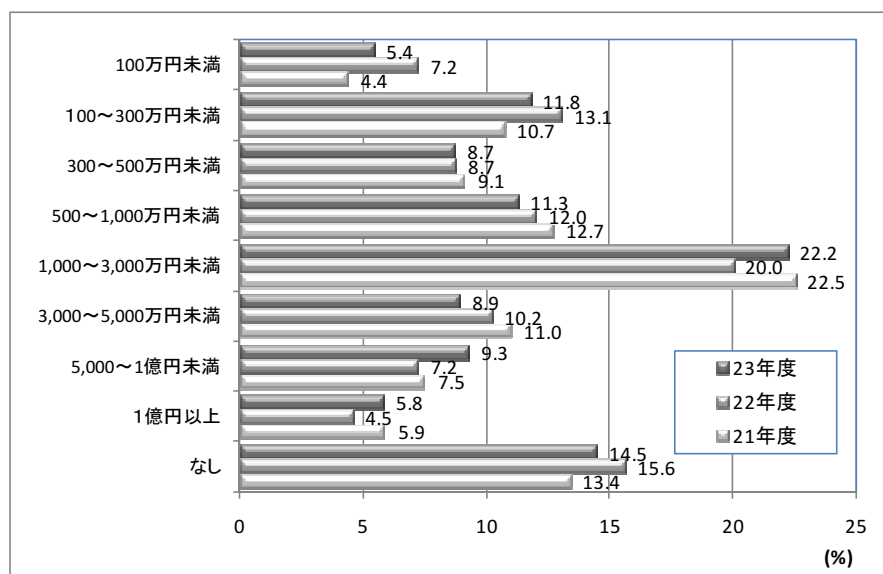
「増加した」と回答した企業の割合は1.0ポイント増加し32.9%。「減少した」と回答した企業は1.9ポイント減少し63.8%。増加した業種では、製造業のみが40%を超えている。



## (3) 今年6月末の借入額

前回より1000万円未満の割合が3.8ポイント減少し、1000万円～3000万円未満で2.2ポイント増加した。また5000万円超では、前回比3.4ポイント増加し階層によって二極化している。

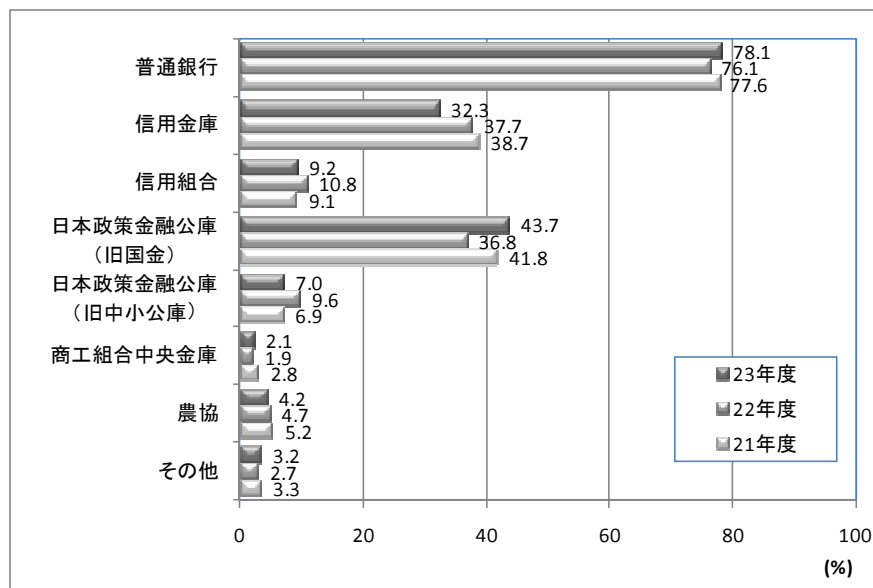
また、借入なしの企業は1.1ポイント減少し14.5%になり、業種別では小売業の23.6%が無借金と回答した割合が最も高い。



#### (4) 現在の借入先 (多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行が2.0ポイント増加し78.1%、日本政策金融公庫(国民生活事業)が6.9ポイント増加し43.7%。一方で信用金庫が5.4ポイント、信用組合が1.6ポイントそれぞれ減少している。

その他の借入先は、ディーラー系オートローン、県高度化資金、住公、経営者等があった。

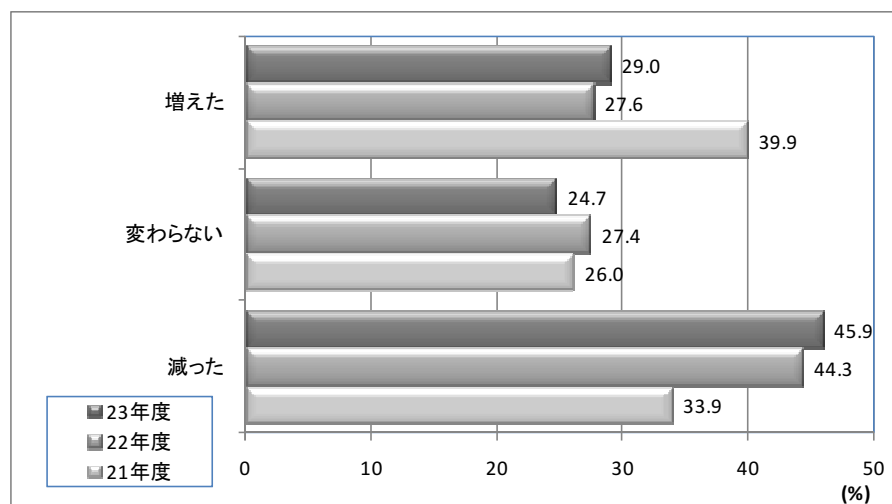


#### (5) 借入額は(昨年12月頃に比べて)

「増えた」29.0%、「減った」45.9%、「変わらない」24.7%となり、「増えた」が1.4ポイント、「減った」が1.6ポイントそれぞれ増加したが、「変わらない」は2.7ポイント減少した。

「増えた」企業の割合は、業種では運輸業、建設業、小売業の順になっている。

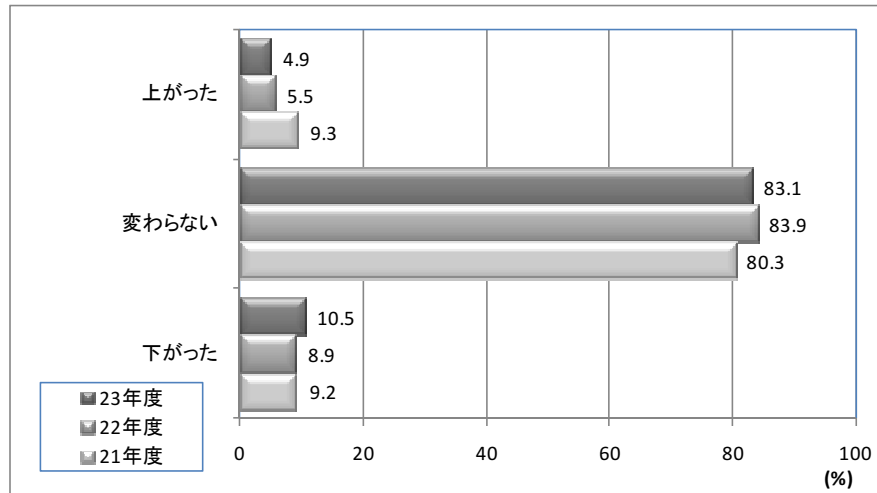
「減った」企業の割合は、飲食・宿泊業、卸売業の順になっている。



### (6) 金利は（昨年12月頃に比べて）

「上がった」割合が0.6ポイント減少し、「下がった」は1.6ポイント増加した。また、「変わらず」が0.8ポイント減少し83.1%となる。

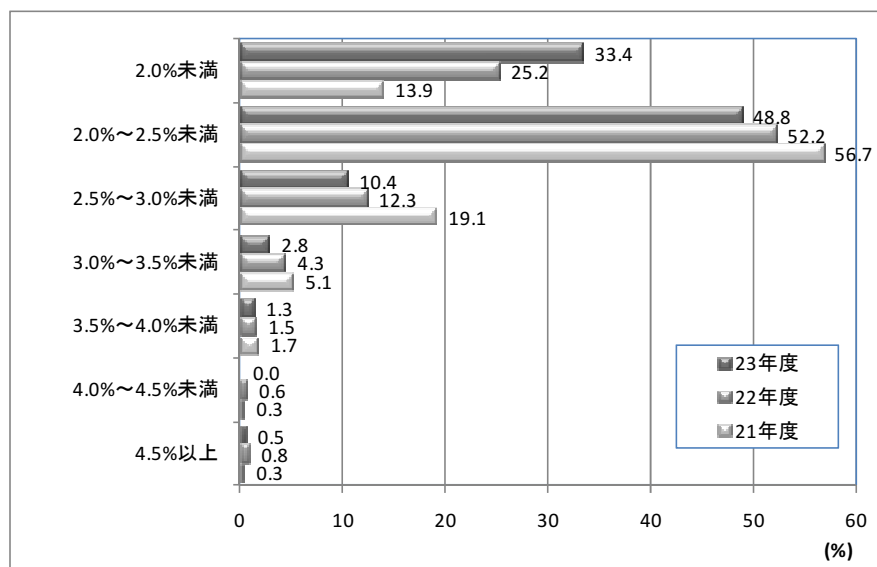
業種では、「下がった」企業の割合は運輸業、建設業、製造業で10%を超えた。



### (7) 現在の借入金利（平均）

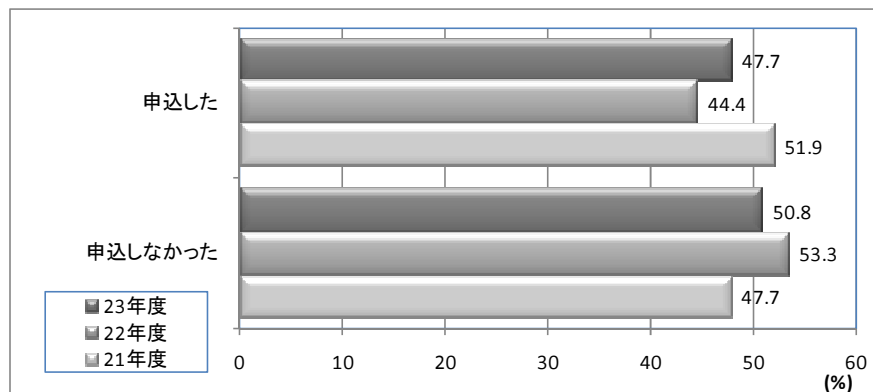
平均金利は、「2.0%未満」が8.2ポイント増加し33.4%となり、「2.0%～2.5%未満」は3.4ポイント減少し48.8%となった。また3.0%超では、2.6ポイント減少した。

階層別では、3.0%未満の割合が前回比2.9ポイント増加し92.6%を占めた。



### (8) 最近6ヶ月間の借入申込（借入申込実績）

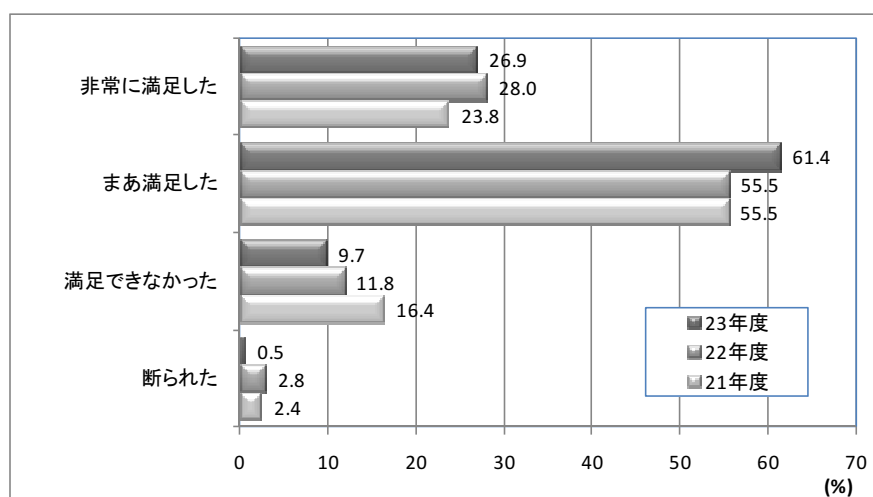
「申込した」割合が前回より3.3ポイント増加した。業種別では建設業のみが50%以上の割合で借入申込をしたと回答。「申込しなかった」は2.5ポイント減少し、業種では卸売業、飲食・宿泊業、運輸業、サービス業の順で50%以上が借入申込をしなかったと回答。



### (9) 借入の満足度

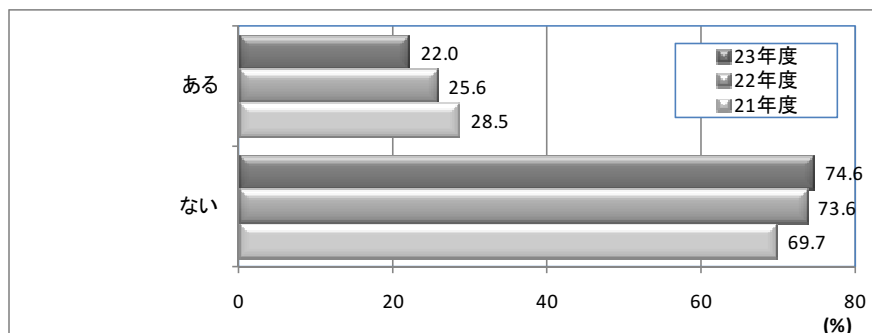
「非常に満足」が1.1ポイント減少し、「まあ満足」は5.9ポイント増加の61.4%。また「満足できなかった」は2.1ポイント、「断られた」は2.3ポイントそれぞれ減少した。

「非常に満足」「まあ満足」と回答した業種では、飲食・宿泊業、小売業、製造業の順で割合が高くそれぞれ90%を超えた。



### (10) 「貸し渋り」の有無

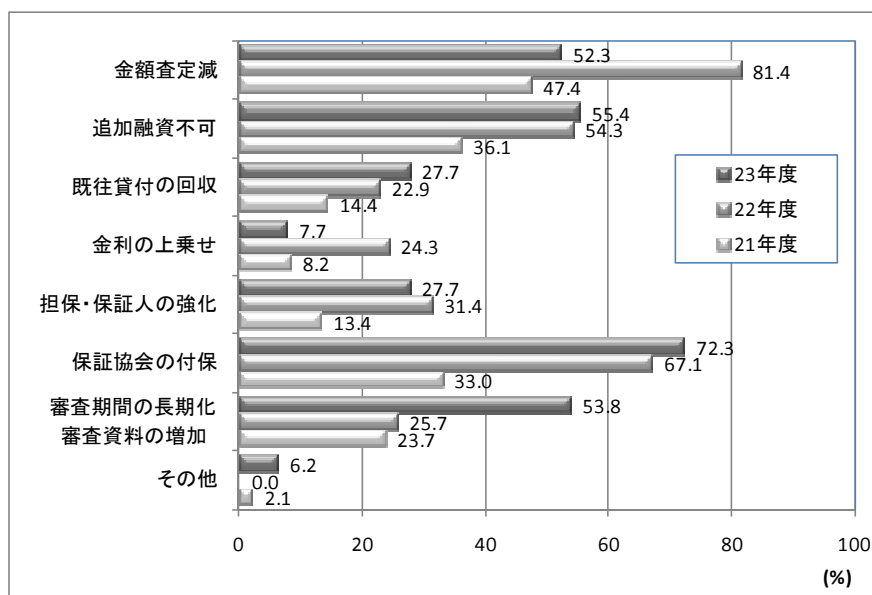
「ある」が前回より3.6ポイント減少し、「ない」は1.0ポイント増加した。  
 「ある」を業種別でみると、卸売業、建設業、運輸業の順で割合が高い。



### (11) 「貸し渋り」の内容 (3つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると「保証協会の付保」が5.2ポイント増加し72.3%。  
 「追加融資不可」1.1ポイント、「審査期間の長期化、資料の増加」は28.1ポイント、「既往貸付の回収」は4.8ポイントそれぞれ割合が増加した。

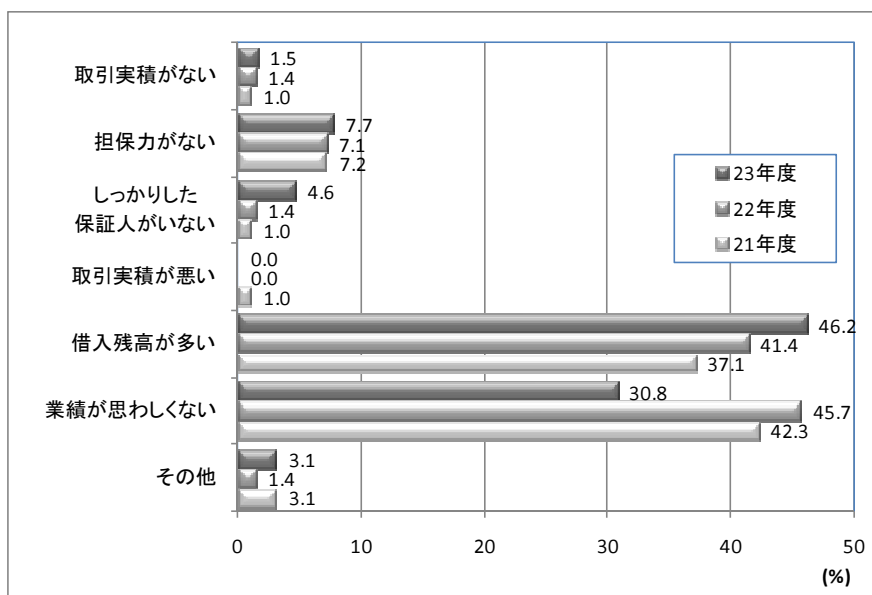
その他の内容では、保証協会は承諾したが金融機関は内部審査により拒絶したなどがあった。



**(12) 借りにくい、借りられない理由 〈回答数構成比〉**

「借入残高が多い」は4.8ポイント増加し、「業績が思わしくない」を含めた2項目の割合が30%を超え主要要因と捉えている。

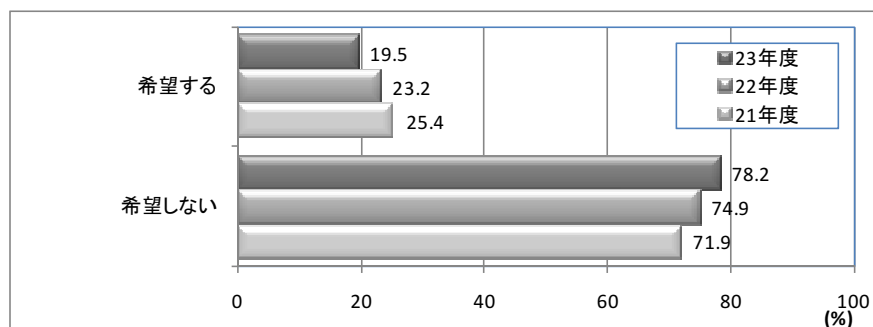
その他の理由では、現在は元金返済をストップしているからがあった。



**(13) 借入返済の条件変更 (希望の有無)**

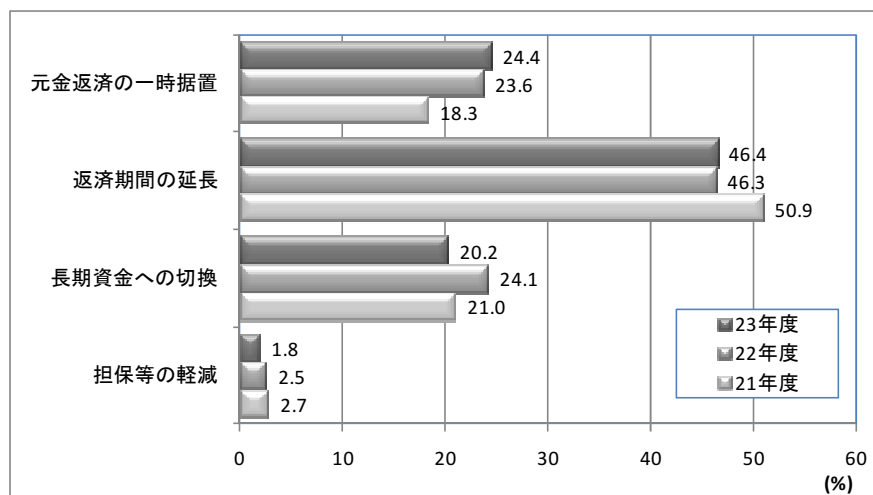
条件変更を「希望する」企業の割合が、前回調査と比べ3.7ポイント減少し、「希望しない」は、3.3ポイント増加の78.2%となった。

条件変更を「希望する」業種では、運輸業、飲食・宿泊業、小売業、建設業の順で割合が高い。



#### (14) 希望する条件変更

「元金返済の一時据置（猶予）」が0.8ポイント、「返済期間の延長」が0.1ポイント増加した。一方で「長期資金への切换」が3.9ポイント減少した。「返済期間の延長」を希望する業種では、サービス業、飲食・宿泊業の順に多い。

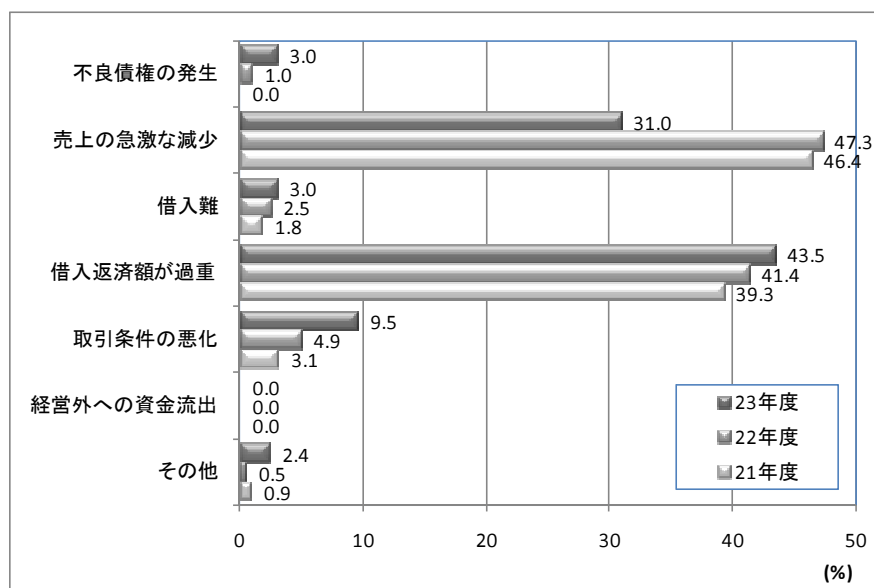


#### (15) 条件変更を希望する理由

「借入返済額が過重」は前年比2.1ポイント増加し2年連続して40%を超えており、条件変更を希望する理由の中では最も高くなった。

「借入返済額が過重」を理由に挙げた業種では、製造業、卸売業、飲食・宿泊業、サービス業、建設業で割合が40%を超え、「売上の急激な減少」では、運輸業で50%となっている。

その他の希望する理由では、経営の安定、設備資金の予算超過、社会保険料等の支払、買掛金回収難があった。

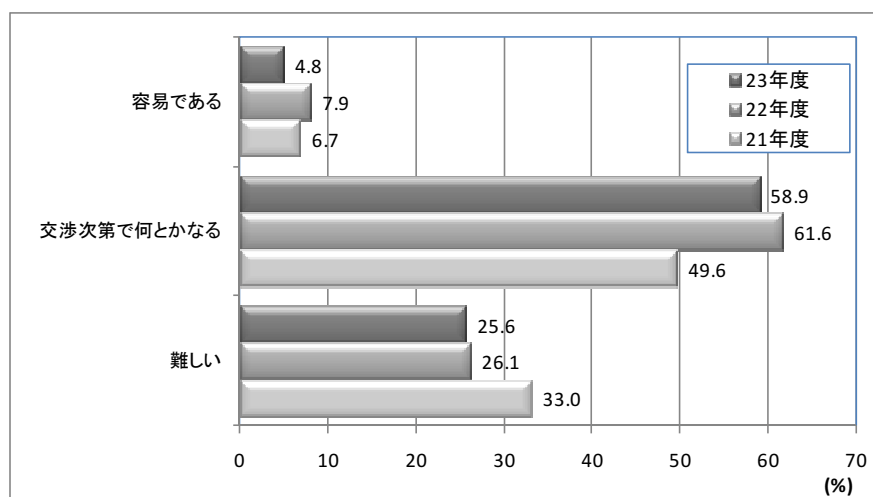




### (16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「交渉次第で何とかなる」は2.7ポイント、「容易である」は3.1ポイントそれぞれ割合が減少した。また「難しい」は0.5ポイント減少し、21年以降3年連続減少した。

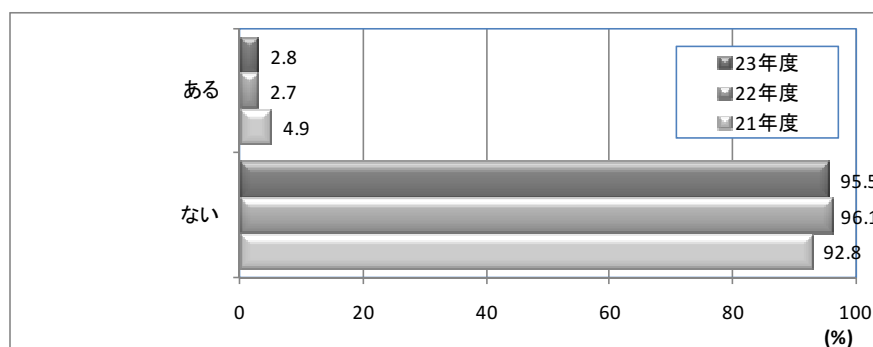
難しい理由については、返済の遅延、借入金額が多い、制度が異なるために一本化できない、次回以降の借入が難しくなるなどの意見があった。



### (17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「ある」が2.8%で、前回と比べ0.1ポイントと微増している。

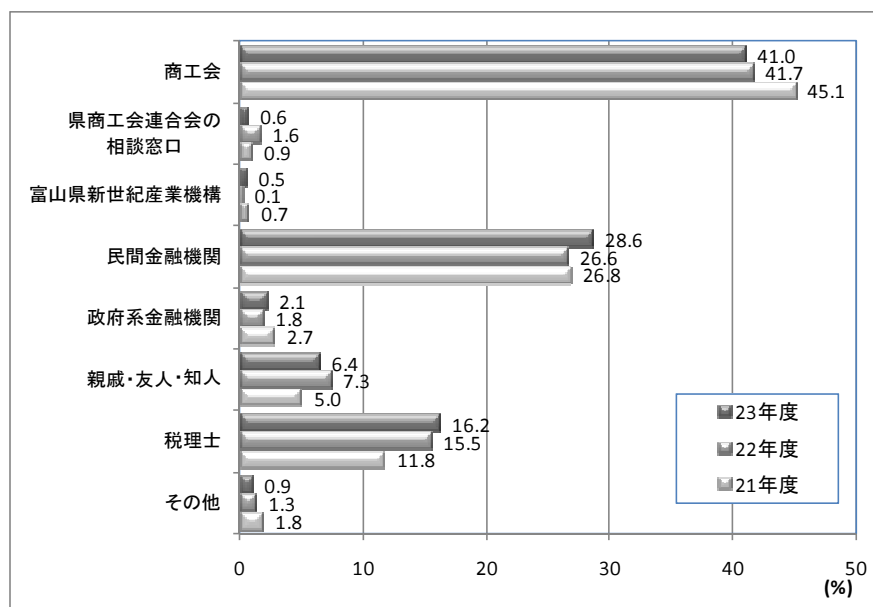
「ない」は95.5%と前回と比べ0.6ポイント減少している。



### (18) 経営が著しく悪化した場合の相談先

先行きに問題が生じたとき、相談に行くところでは商工会が41.0%で前回比0.7ポイント減少し、次に民間金融機関が28.6%で前回比2.0ポイント増加した。

21年調査から相談先に「税理士」を加えたが、前回比0.7ポイント増え16.2%を占めた。その他の相談先には、取引先（仕入・販売先）、家族があった。



#### 4 借入計画 等

##### (1) 今後の借入計画 (1年間)

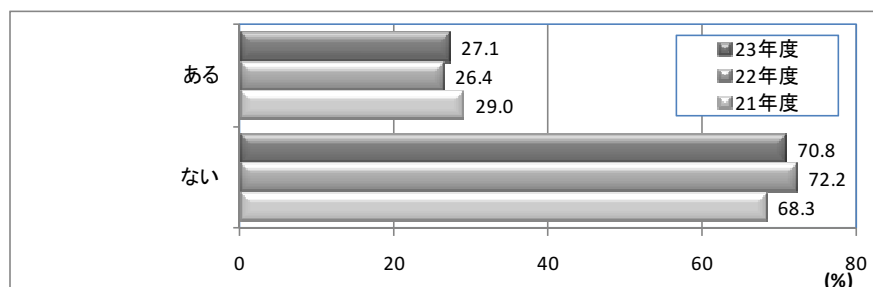
「借入計画がある」は前回と比べ、0.7ポイントの割合で増加している。

「ある」を業種別にみると、運輸業、卸売業、製造業の3業種は前々回から30%を超え、今回は建設業が前回より7.8ポイント増え34.0%となった。

従業員規模別では、21人以上、11～15人、16～20人の順で40%を超えている。

「借入計画がない」は1.4ポイント減少し70.8%となる。

「ない」は業種別では、飲食・宿泊業、サービス業、小売業が前回に続いて70%の割合を超え、従業員規模別では、0人、2人、1人の小規模企業で70%を超えている。



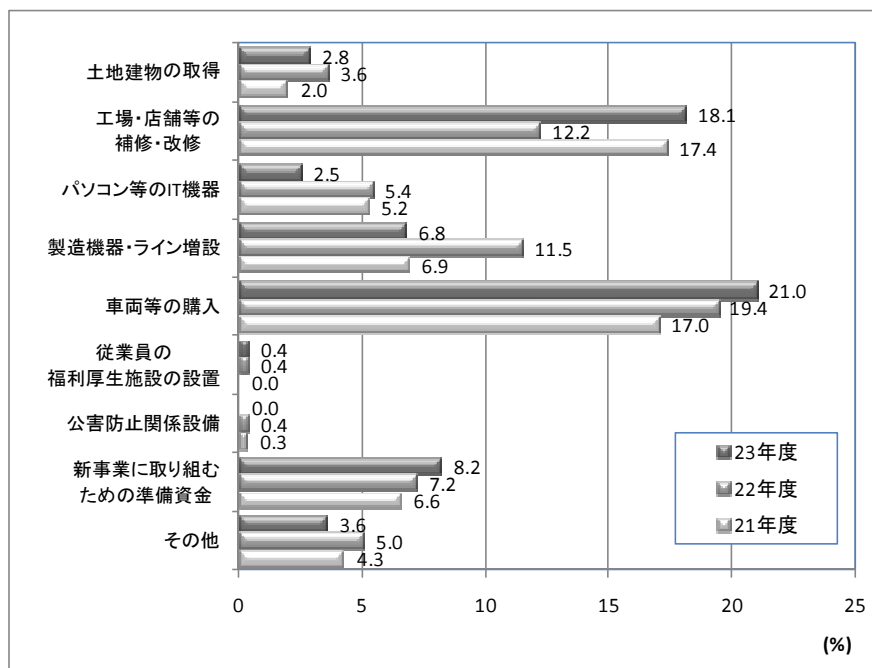
##### (2) 借入計画がある場合の資金使途 (未記入除外、回答数構成比)

「設備資金」の資金使途では、前回調査に比べ「車両等の購入」「工場・店舗等の補修・改修」は増加しており、「製造機器・ラインの増設」は減少している。

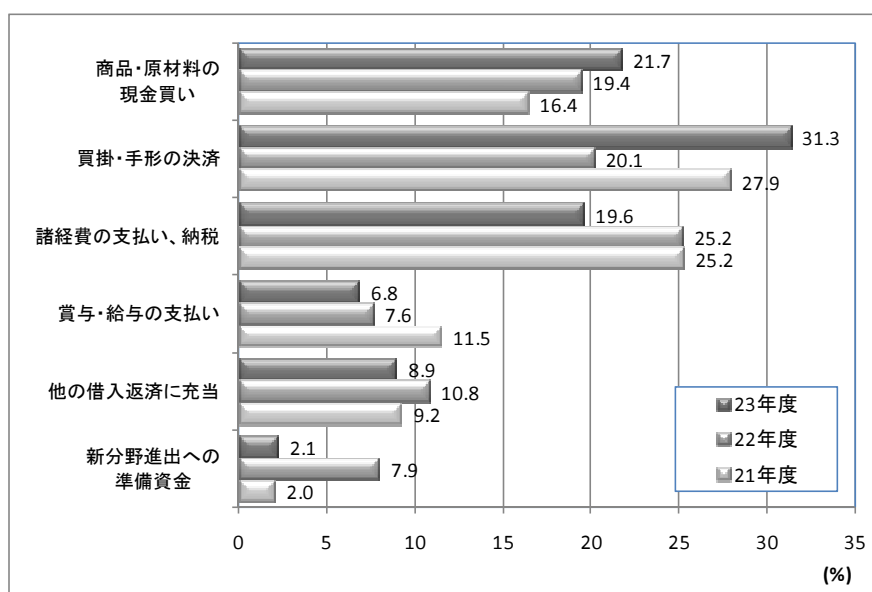
21年に項目を追加した「新事業に取り組むための設備資金」は、1.0ポイントの微増であったが2年連続して増えている。

一方、「運転資金」では「買掛金・手形決済」「商品・原材料の現金買い」、は増加しているが、「諸経費の支払い・納税」「他の借入返済に充当」は減少している。前回増加した「新分野進出への準備金」は今回減少している。

### 【設備資金】

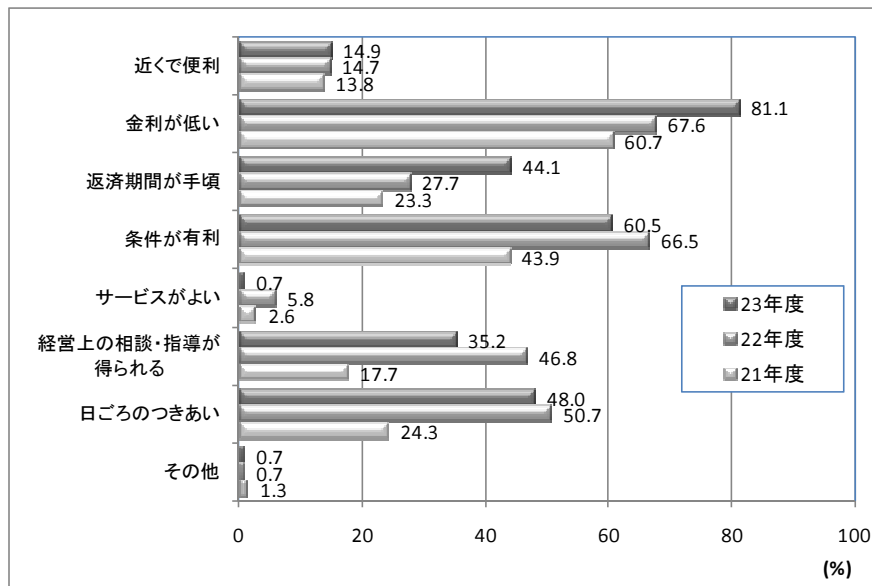


### 【運転資金】



### (3) 借入時の重視条件（2つの複数回答）

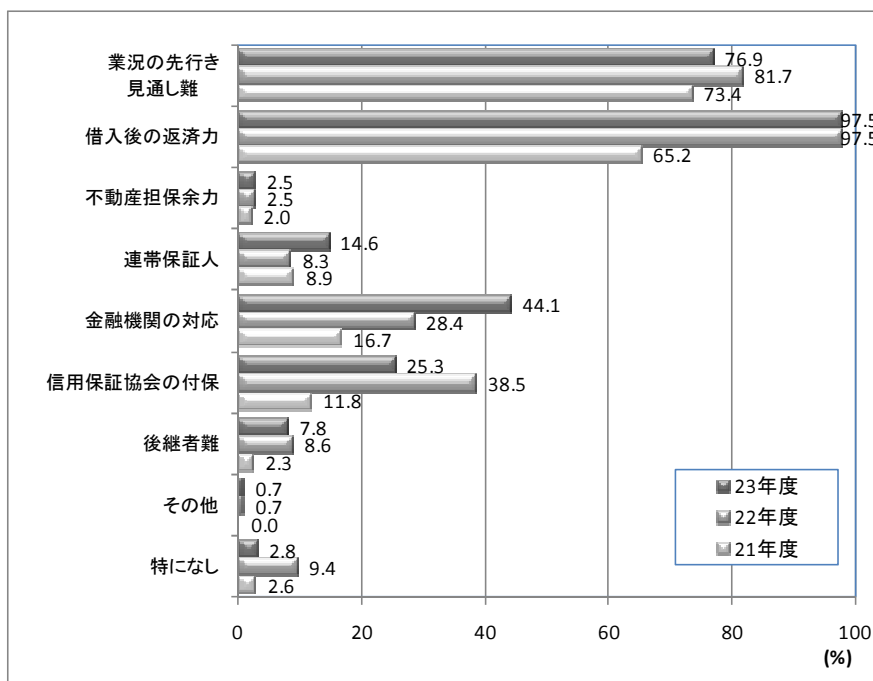
前回調査と比べ、直接条件の「金利が低い」「返済期間が手頃」の伸びが大きく、間接条件の「日頃のつきあい」「経営上の相談指導が得られる」は共に減少した。



### (4) 借入を考える場合、何が懸念されるか（2つの複数回答）

「借入後の返済力」は前回調査と同率の97.5%となった。次いで「業況の先行き見通し難」は4.8ポイント減少したが、同2項目は引き続き圧倒的に多くを占めた。

「金融機関の対応」「連帯保証人」の伸びが大きく、前回大幅に増加した「信用保証協会の付保」は今回は13.2ポイント減少した。

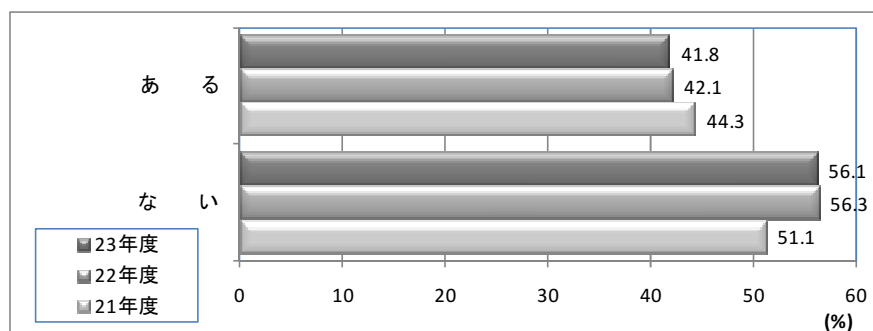


## 5 融資制度 等

### (1) 国・県・市町村の融資制度の過去1年以内の利用状況

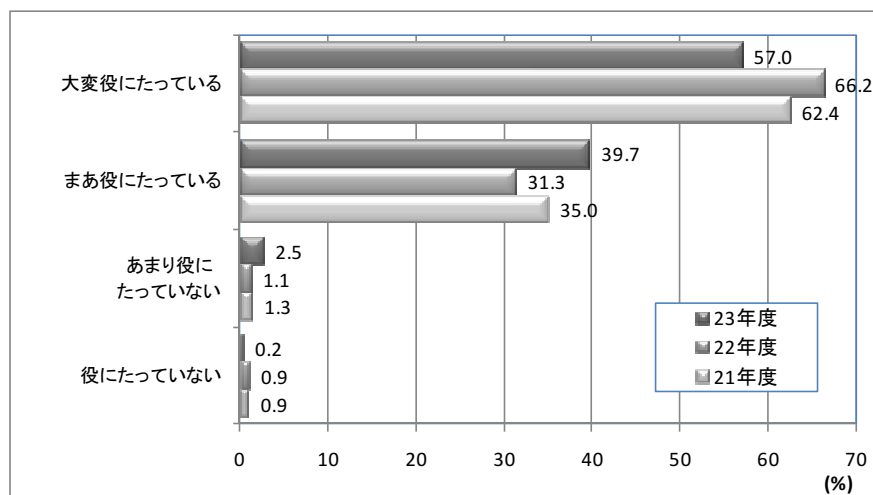
前回調査に比べ、「利用がある」割合は0.3ポイント減少しており、「ない」も0.2ポイント減少したがともに横ばい状態であった。

「利用がある」を業種別に見ると、卸売業、建設業、製造業の順で高い。一方で従業員の規模別では16～20人が66.7%と最も高い。



### (2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか。

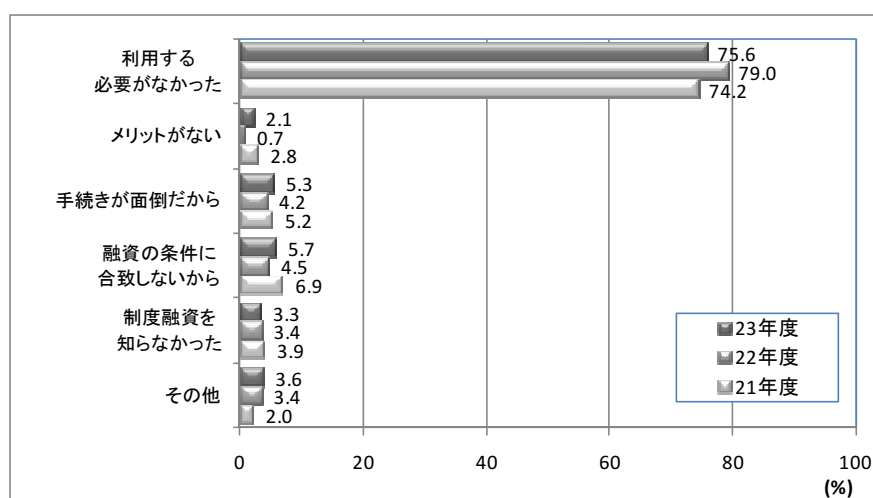
経営に役立っていると回答した企業は、「大変役にたっている」「まあ役にたっている」を合わせて96.7%を占めている。



### (3) 国や県、市町村の融資制度を利用しなかった理由

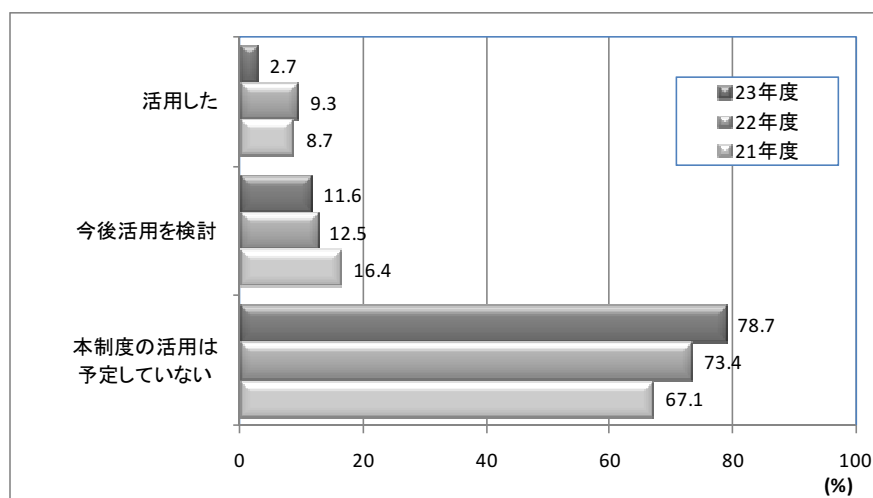
前回調査に比べ、理由の大半を占める「利用する必要がなかった」割合が3.4ポイント減少している。また「融資条件合致せず」「手続きが面倒」「メリットがない」は前回調査に比べて微増している。

その他の利用しなかった理由には、社会保険料等の未納、経営改善計画中、保証債務があり保証協会の利用ができない、公庫の方が利息は安い、これ以上借入する余裕がない、廃業予定（高齢の為）、既に条件変更しているためなどがあつた。



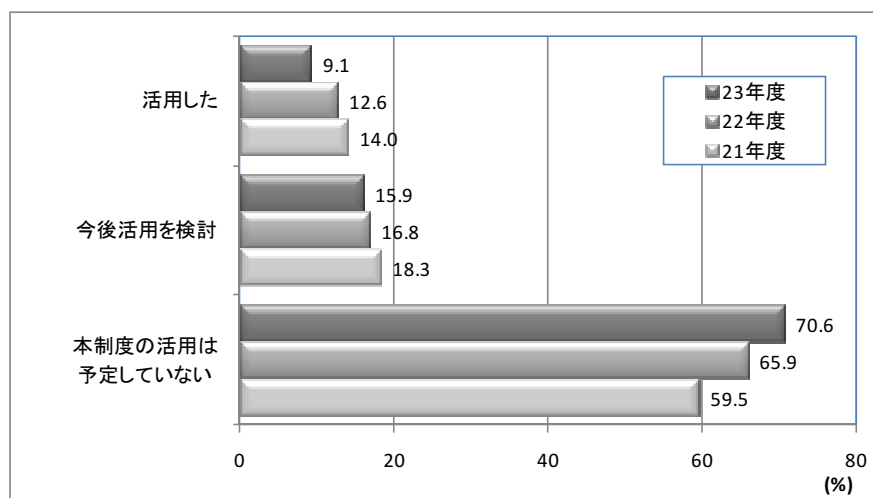
### (4) 国の景気対応緊急保証制度（セーフティネット5号保証、東日本大震災復興緊急保証含む）の活用状況

前回調査に比べ、「活用した」は6.6ポイント減少し、「本制度の活用は予定していない」は増加している。



## (5) 県・市の緊急融資の活用状況

「活用した」「今後活用を検討している」割合は共に前回調査に比べて減少した。



## (6) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見

全てを記載した。

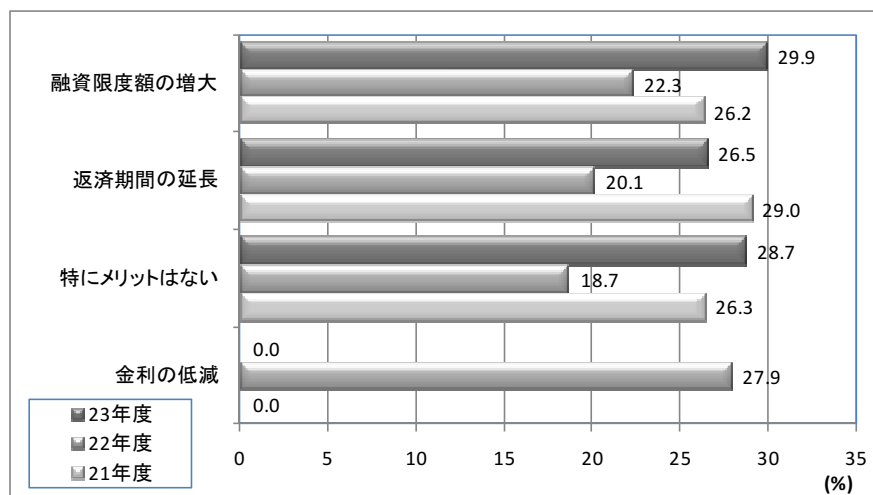
- ・商工会を通して利用しているので安心していますが、自分自身ががんばらなければと思います。私は商工会から情報をきちんとしていけば良いです。
- ・政府系金融機関（旧国金・中小公庫）が合併したために、前中小公庫で借入の条件変更をしているため、旧国金へ融資依頼しても融資が認められない。
- ・公的融資制度の限度額が引き上げられたり、返済期間が延長されたりしても、一度条件変更した会社には、何のメリットもないように思われます。
- ・審査が簡単。一年据置。
- ・手続き面の簡素化。制度融資内容面のPR工夫（事例紹介等を記載するなど）。
- ・返済の猶予期間2年間をもうける。
- ・後継者ありの場合、特典と優遇措置を講じてほしい。
- ・借入の時、希望金額が必ずカットされ予定が立てにくい、利用しにくい。
- ・条件変更をしても、何か借入ができる制度があればよい。
- ・取引先の倒産に伴う経営悪化で、社会保険料の一部を納付しなかった期間があった。現在は社会保険事務所と相談し、過去の未納分を分割納付している。残高は延滞利息を含めて〇〇万円余り、これを返済しないと政府系・県・市町村融資が利用できない状況にある。現在の事業は上向き傾向にあるが、住宅ローンも返済中で担保余力も少ないことから、金融機関で未納保険料分を借入して組み替えることもできない。社会保険料を遅れて納付している企業も多く存在すると思うが、遅れながらも前向きに納付しているので、国・県・市町村制度融資が受けられればありがたいのですが。
- ・先行きが見えない、売上は相変わらずよくなく、そのような事業所・店舗等に融資の話をする以前の問題であると思います。

- ・ 県・市町村の制度融資は過去の中で何度も利用した。が必ず保証協会を通すので実質金利が高くなってしまふ。制度融資というぐらいだからこの手の融資の保証料は当該自治体が補填してほしい。
- ・ 連帯保証人は全く必要なしでの融資。
- ・ 以前に借りたことがありましたが、提出書類の多さにイヤ気をしました。
- ・ せっかく、県のトライアル商品に認定されても、金融機関等にその知識がないので、理解してもらえない。又、借入金が多いと借入する事も出来ないから、新商品への研究開発費、設備資金が調達できず、開発や販売先を広げる事も出来ない。
- ・ もっと手続きを簡単・スピーディにしてほしい。
- ・ 借入期間を5～10年の任意設定出来るようにし、又期間内での元金返済据置を認める制度。
- ・ 据え置き期間の長い制度融資。
- ・ 仕入価格の不当な差別による販売価格の是正等をしていかなければ、売上の減少に歯止めがかからず、商売がなりたたない。まずそこを是正してから。
- ・ 県と市町村の制度には類似した制度融資が多くまぎらわしい。



(7) マル経融資(日本政策金融公庫の公的融資制度)は、21年4月から融資限度額が1000万円から1500万円へ引き上げられ、返済期間等の拡充がされておりますが、同内容の拡充措置は23年4月から更に1年間延長されました。どこがメリットになりますか。

「融資限度額の増大」「返済期間の延長」はともにメリットになると回答した割合が増加したが、「特にメリットはない」も増えている。



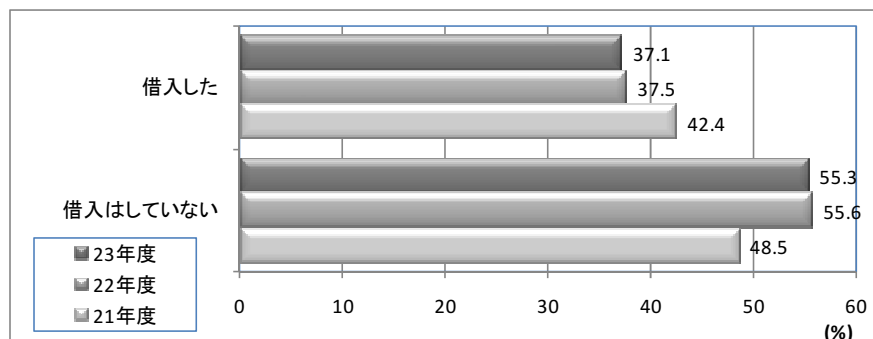
## 6 最近の諸制度についておたずねいたします。

(1) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入しましたが、これらについておたずねしました。

ア、最近1年間に、信用保証協会の保証付で借入をされましたか。

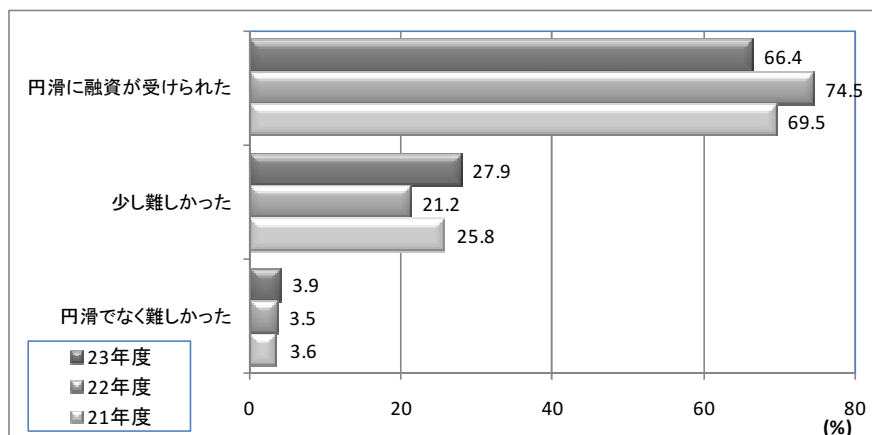
最近1年間に保証付で借入をした企業は、37.1%と前年比較で0.4ポイント減少した。

業種では、卸売業、製造業、建設業で順で割合が40%を超えている。



## イ、円滑に保証手続きが進みましたか。

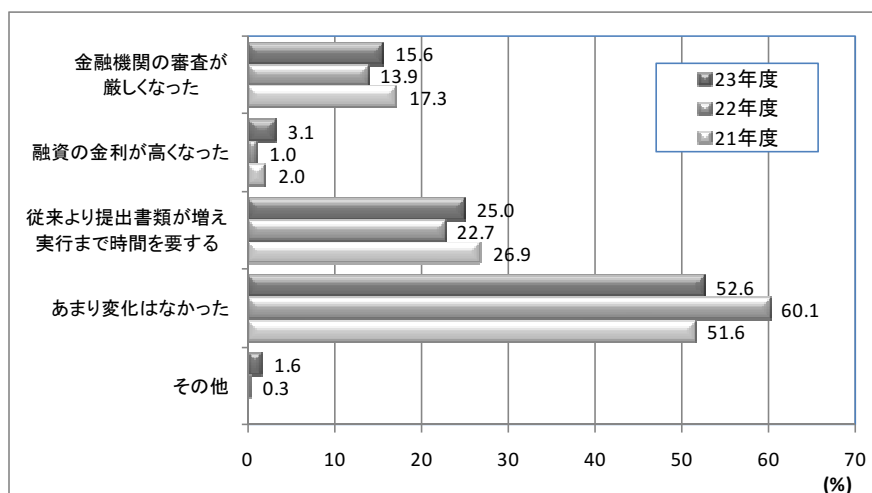
「円滑に融資が受けられた」と回答した企業は66.4%と前年比較で8.1ポイント減少した。一方「少し難しかった」「円滑でなく難しかった」は前年比較で7.1ポイント増加している。



## ウ、金融機関の態度にどのような変化がありましたか。

「審査が厳しくなった」「金利が高くなった」「提出書類が増え、時間を要するようになった」は3項目の合計で43.7%と前回比較で6.1ポイント増加し、金融機関の融資態度に変化があった割合が増えた。一方で「あまり変化はなかった」は7.5ポイント減少した。

その他の変化では、今までよりも借入の相談に対し前向きな答えがくるようになった、運転資金が難しくなった、今後の事業継続問題への質問が厳しくなったなどの意見があった。



## (2) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

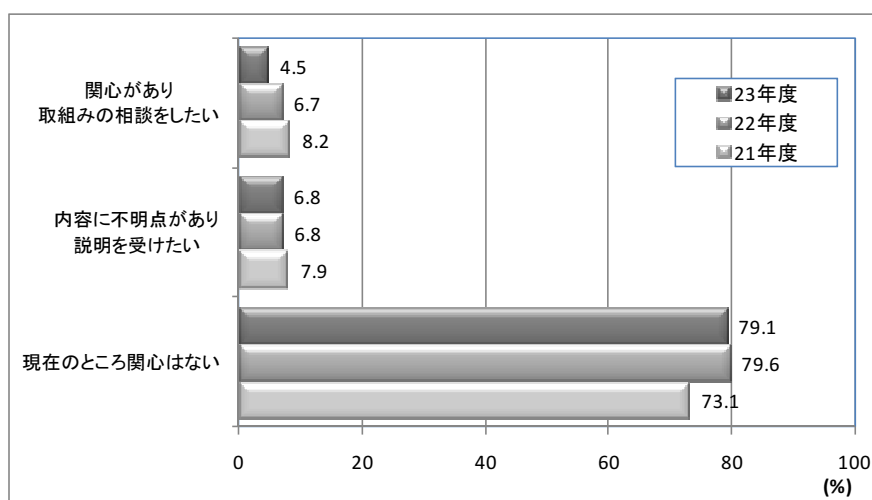
### 全てを記載した。

- ・一般論ばかりを押し付けないでほしい。
- ・保証料を安くしてほしい。
- ・保証利率が高い。
- ・経営改善計画中で融資が受けられず、経営が大変きびしいです。
- ・信用保証協会の基準が厳しすぎる。融資枠が低すぎる。
- ・前回、事業拡大による設備資金の借入をお願いした時に、全く相手にされなかった。後の対応が悪すぎると感じた。「説明させてほしい」と言ったら、「何しに来るの？来なくていいよ」と言われた。
- ・この制度があって助かりますが、2～3カ月、1ヶ月でも返済が遅れるとどうなるのか、教えてほしい。
- ・提出書類が多すぎる。
- ・保証料がよくわからない。その時によって違う。
- ・自分の身にふりかかる事を考えると怖い。仕事ができなくなり、借入が残るという事は故に先が暗く、借入してまでも事業拡大する自信・夢は遠い。
- ・保証枠が減らされてきている。景気が横ばいなのだから、保証枠も横ばいにしてもらわないと、何のための保証協会なのかわからない。近頃非常に不満に思う。
- ・保証料があれば保証人や担保はいらないのではないのでしょうか。
- ・資金繰りが大変な今、借入した時の保証料が高いような気がします。
- ・よい制度だと思う。100%保証の方がよいと思う。
- ・過去の条件変更により、一層に審査が厳しい。今後の見通しは悪い事ばかりではないと思うが、やりたい事があってもなかなか設備投資資金の面で大変だ。
- ・費用がかかる割にメリットがないように思う。金融機関の金利は保証がいらず、金利が安い。
- ・返済期間の更なる延長を望む。
- ・保証料の助成が県制度にはなかったのが残念。
- ・すばらしい制度と思います。
- ・連帯保証人制度の撤廃。
- ・金融機関等がOKを出してくれても、保証協会の審査でダメになる事がよくあった。印鑑証明やその他の証明書にもお金がかかっているのだから、ムダになる事も多い。
- ・融資の金利が安いと思っても、保証協会の分が上のせされるので、さほど安いようにみえない。
- ・審査が厳しくなった。

- ・ 現在借入金が残っているのは、すべて信用保証制度のものばかりです。審査が簡単で十分に借入させていただき感謝しています。
- ・ この制度があって非常に助かっています。
- ・ 信用保証枠の拡大をお願いしたい。
- ・ 他県の状況を聞くと運用に違いがあると感じている。

### (3) 「23年度中小企業支援ネットワーク強化事業」の事業内容について

「相談したい」「説明をうけたい」は11.3%と前回比較で2.2ポイント減少した。(注、21年度は地域力連携拠点事業、22年度は中小企業応援センター事業に対する回答。)

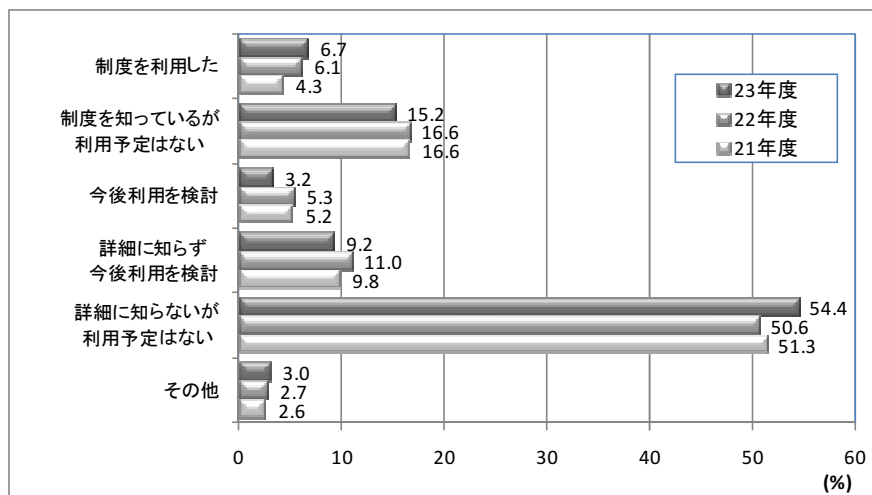


### (4) 従業員の雇用について

#### 「中小企業緊急雇用助成金制度」の利用状況

「制度を利用した」「今後、利用を検討している・検討したい」は合わせて19.1%となり、前回調査と比べた割合が3.3ポイント減少している。

「制度を利用した」従業員の規模別では、21人以上が28.3%と最も多く、次いで16～20人、11～15人の順に利用した割合が多くなっている。

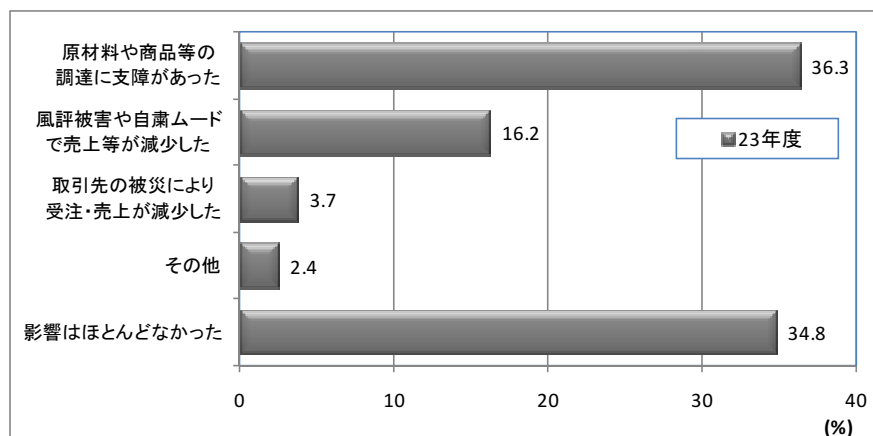


## (5) 東日本大震災の影響について

### ア、震災は営業にどのような影響がありましたか。

震災の影響を受けたと回答した割合は56.2%と半数を超え、「影響はほとんどなかった」と回答した割合が34.8%と二分した。影響の内容は、原材料や商品等の調達、売上の減少や予約のキャンセル等の割合が多かった。

影響を受けた業種では、卸売業で76.9%、飲食・宿泊業で64.3%、建設業で59.7%の順で割合が高くなっている。



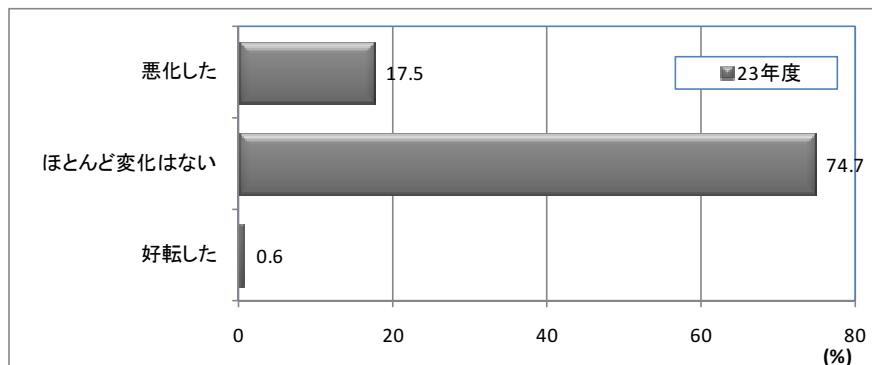
その他の影響については以下の様な意見があった。

- ・一部商品仕入れ原価が上がった。
- ・発注しても物が入ってこない。
- ・皆の考え方が変わった。
- ・取引先が間接的影響を受けたため。
- ・予約のキャンセルはありませんでしたが、客足が全体的に少なかった。
- ・3月に受注したが、注文品が6月末日入荷になり心配しました。
- ・自粛ムードで多少の減少があった。
- ・材料、品物等の価格が上昇した。
- ・商品不足。
- ・地方の公共事業費の削減。
- ・商品供給減により生産台数減少、受注量が減った。
- ・震災特需でご相談者が忙しくなり、面談予定が立たなくなった。
- ・材料入手難。
- ・被災地の仕事のでている。
- ・どのような影響があるのか、今後少しずつ明確になると思う。
- ・材料費の値上がりにつながった。
- ・メーカーよりの商品入荷が滞りがち。
- ・観光土産品店は観光客の減少により、売上が減少している。

#### イ、震災によって資金繰りに影響がありましたか。

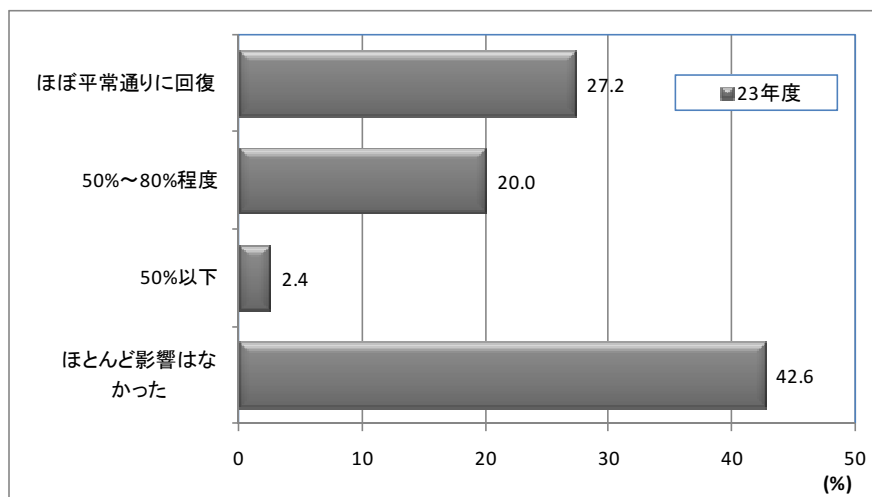
資金繰りへの影響については、「ほとんど変化はない」は74.7%を占め、「悪化した」は17.5%に止まった。

「悪化した」業種では、運輸業が40%と最も割合が高かった。



#### ウ、現在の営業状態や設備の稼働状況・予約状況はどうですか。

「ほとんど影響はなかった」の割合は42.6%となっている。一方で未だ回復途上の「50%～80%程度」「50%以下」は合計で22.4%となっているが、業種では飲食・宿泊業で35.8%と最も影響割合が高い。



#### エ、今回の震災に関して、ご要望があればご記入ください。

- ・震災にあわれた会社・商店の方々を優先に援助する様な制度で、一日も早く復興してもらいたい。
- ・仕事がなく開店休業の状態です。いつ店を閉めてもおかしくない状態です。
- ・一日も早く国が震災復興を支援し、以前のようにならないと国民の不安が今の日本経済に多大なる影響があります。政治の充実がポイントである。

- ・政治の混乱が公共工事等の内需拡大にならず、地方・地元中小企業の弱体化になっている。東北地方だけでなく、日本全体の景気回復に向けて国政を引っ張ってもらいたい。
- ・早く平常に戻って欲しい。
- ・未曾有の災害で苦しんでいらっしゃる方々のことを思うと、頑張らなくてはと思います。
- ・命がけで実行する政治家が現れて欲しい。人物が小さすぎる。
- ・早く復興して景気が良くなってほしい。
- ・一日も早い復興を願っております。
- ・当社は何の問題もなかったが、「コンパネ」「塩ビパイプ」「鉄筋」等色々の材料が不足するという”ガセ”情報は絶対やめてほしいと思います。
- ・一日も早い復旧を願っております。県・国は出来る限り支援して下さい。
- ・今回の震災を教訓に、どんな災害にあった場合でも、速やかに事業を再開できる仕組みを充実させてほしいです。
- ・被災地の復興に当社の製品を買ってほしい。
- ・復興に少しでも協力したい。
- ・政治をはじめとして、大震災への対応ばかりに目が向けられているが、地方の建設業は疲弊してきている。質の悪化、技術の伝承等のバランスが重要。
- ・以前より建設業に対する風当たりが強かったが、今回のような災害があると防災の為の工事や被災した場合の復旧のため、建設業の大切さを再認識した。
- ・良い経験になった。
- ・日本全体で被災された方を、助けていく空気を強く商工会等で作ってもらいたい。
- ・材料・合板の価格が上昇した。商品価格を一部値上げしなければならないが、今大変厳しい状況。理解が得られるか。
- ・「がんばれ東北」と世の中が応援しているが、地元をもっと元気にしないと、東北を助けられない。
- ・融資について、直接被害、間接被害等の違いで、貸出条件が異なっているが、リーマンショック等様々な問題で企業のほとんどが資金的にも疲弊していると思う。経済活性化を図る為にも、より良い条件で中小企業への積極的融資をお願いしたい。
- ・義援金を早急に渡してほしい。
- ・この震災でこの後どうなるかは、全く予想もつかない。一時的な影響はあったが、この先わからないので心配している。
- ・赤十字等の公的機関に寄付金を託すのではなく、直接被災された地域の役場等にお金を届けられるようなシステムがほしい。
- ・震災で被災された方、放射能の被害地域の方へ速やかに義援金・補償金を届けるよう政府に働きかけて下さい。

- ・東北の振興のために、人、お金の動きがシフトすることで、それ以外の地域にはお客さんやお金がまわらなくなっているように感じる。日本全体が震災にあい、間接的に被害を受けている状態だと思う。このことを踏まえて、日本全体で元気にする施策を求めたい。

**(6) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入ください。**

**全てを記載した。**

- ・企業の内容、展望にそった金融支援を望む。
- ・いつもお世話になっています。今後も情報提供をお願い致します。
- ・資金繰りがスムーズになるように指導してほしい。
- ・借入をしようと思っても、保証料負担が大きいです。資金繰りが出来なくて借入をお願いしたいのに、借入金から差引していただけるなら良いのですが、先払いというのは大変でした。
- ・お金を借りるときに、商工会の推薦がいるのはなぜですか。
- ・期待していません。本当に会員の為になる事を考えて実行して下さい。会員組織ですから。
- ・金融機関はお金を借りてほしいときばかり、営業に来るが必要のない時はことわりますが、こちらから借りようとした時に、今後の1～2ヶ月の入金予定、仕事の予定を書いて提出せよと書留をもって来て、1～2週間かかりますと言って行く。
- ・金融機関は取引先が必要としている時に、迅速に対応してくれるようにしてもらいたいと思います。金融機関に話をするのが商工会かな。
- ・現状で大変良いです。
- ・町の中は過疎化するばかりで、商売をつづけるには不安です。
- ・当社のように困った会社をもっと助けてあげて下さい。
- ・地元の行事ばかり職員がとられて、商店を救う、企業を救うための活動がされていないようだ。イベントも大事だが、どうせ採算がとれないのだから、もう少し数を絞って。全会員の経営診断をして売上アップ（経費削減）につながるアドバイスをもらいたい。
- ・説明会に出席してみたい。
- ・貯蓄を兼ねた融資を推薦していますが、融資返済期間の短さや、貯蓄との二重掛金はちょっとつらいものです。何年か据置期間がないと借りることも簡単にできません。むりやりの貯蓄融資の掛金の募集も大変だと思います。
- ・金融面で商工会に期待することはないです。
- ・金利の低い制度があればありがたい。



- ・以前に旧国金を紹介してもらいお世話になりました。
- ・詳細についてはよく分かっていないが、マル経の融資枠以上の融資を希望する時やはり保証料負担があるのだろうか。表面金利が低利であっても、結局は実質金利がはね上がるのなら、この部分を自治体、商工会等が何らかの形でカバーして行ってもらいたい。
- ・個人的に勉強不足の為、社会情勢などを会社訪問しながら教えてもらいたい。帳面の方もお金を支払っているのに、早めにしてほしい。途中経過をみたいのに何か月も遅れると調整がきかない。
- ・借入が必要になれば、事業を止めたいと考えている。

以 上

# 中小企業金融実態調査集計表(全体、5ヵ年比較)

上段 実数  
(下段 構成比)  
N A 無記入

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
回答企業数		610	984	1052	1055	1035	
I 企業 の 概 要 に つ い て お た ず ね し ま す	1 業 種 は ど れ に あ た り ま す か	建設業 (23.6)	144 252 (25.6)	273 (26.0)	252 (23.9)	303 (29.3)	
	製造業 (20.8)	127 (20.8)	233 (23.7)	208 (19.8)	207 (19.6)	177 (17.1)	
	卸売業 (2.1)	13 (2.1)	26 (2.6)	19 (1.8)	24 (2.3)	13 (1.3)	
	小売業 (24.8)	151 (24.8)	229 (23.3)	261 (24.8)	253 (24.0)	233 (22.5)	
	飲食業・宿泊業 (9.7)	59 (9.7)	75 (7.6)	97 (9.2)	93 (8.8)	112 (10.8)	
	サービス業 (11.8)	72 (11.8)	101 (10.3)	141 (13.4)	176 (16.7)	150 (14.5)	
	運輸業 (4.6)	28 (4.6)	45 (4.6)	28 (2.7)	30 (2.8)	25 (2.4)	
	その他 (2.6)	16 (2.6)	22 (2.2)	25 (2.4)	19 (1.8)	22 (2.1)	
	N A (-)	0 (-)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	
	2	2年未満 (0.7)	4 (0.7)	5 (0.5)	15 (1.4)	11 (1.0)	13 (1.3)
	2~5年未満 (3.6)	22 (3.6)	31 (3.2)	37 (3.5)	41 (3.9)	21 (2.0)	
	5~10年未満 (6.7)	41 (6.7)	44 (4.5)	65 (6.2)	71 (6.7)	60 (5.8)	
	10~15年未満 (6.4)	39 (6.4)	59 (6.0)	77 (7.3)	86 (8.2)	96 (9.3)	
	15~20年未満 (9.7)	59 (9.7)	79 (8.0)	113 (10.7)	91 (8.6)	78 (7.5)	
	20~30年未満 (17.4)	106 (17.4)	163 (16.6)	172 (16.3)	182 (17.3)	186 (18.0)	
	30~50年未満 (32.6)	199 (32.6)	354 (36.0)	337 (32.0)	341 (32.3)	330 (31.9)	
	50年以上 (22.6)	138 (22.6)	249 (25.3)	236 (22.4)	231 (21.9)	250 (24.2)	
	N A (0.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	
	3	0人 (30.8)	188 (30.8)	255 (25.9)	298 (28.3)	339 (32.1)	288 (27.8)
	1人 (14.8)	90 (14.8)	130 (13.2)	167 (15.9)	168 (15.9)	160 (15.5)	
	2人 (12.5)	76 (12.5)	81 (8.2)	120 (11.4)	88 (8.3)	98 (9.5)	
	3~5人 (16.4)	100 (16.4)	169 (17.2)	193 (18.3)	206 (19.5)	200 (19.3)	
	6~10人 (11.5)	70 (11.5)	143 (14.5)	120 (11.4)	119 (11.3)	142 (13.7)	
	11~15人 (6.6)	40 (6.6)	66 (6.7)	70 (6.7)	51 (4.8)	60 (5.8)	
	16~20人 (3.0)	18 (3.0)	37 (3.8)	33 (3.1)	24 (2.3)	27 (2.6)	
	21人以上 (4.4)	27 (4.4)	102 (10.4)	50 (4.8)	60 (5.7)	60 (5.8)	
	N A (0.2)	1 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	3 常 時 使 用 す る 従 業 員 は 何 人 で す か 3 か 月 以 上 継 続 雇 用 ・ パ ー ト 含 家 族 除						

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
Ⅱ 営業 の 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	4 こ こ 一 年 間 の 売 上 高 は ど の く ら い で し た か	500万円未満	20 (3.3)	27 (2.7)	27 (2.6)	58 (5.5)	47 (4.5)	
		500～1,000万円未満	60 (9.8)	93 (9.5)	127 (12.1)	149 (14.1)	120 (11.6)	
		1,000～3,000万円未満	191 (31.3)	238 (24.2)	318 (30.2)	327 (31.0)	297 (28.7)	
		3,000～5,000万円未満	95 (15.6)	137 (13.9)	168 (16.0)	158 (15.0)	150 (14.5)	
		5,000～1億円未満	108 (17.7)	172 (17.5)	180 (17.1)	154 (14.6)	181 (17.5)	
		1億～1億5,000万円未満	52 (8.5)	109 (11.1)	88 (8.4)	78 (7.4)	91 (8.8)	
		1億5,000万円以上	83 (13.6)	204 (20.7)	137 (13.0)	129 (12.2)	147 (14.2)	
		N A	1 (0.2)	4 (0.4)	7 (0.7)	2 (0.2)	2 (0.2)	
	5 こ こ 一 年 間 の 売 上 高 前 年 比 較	増	5%未満	124 (20.3)	142 (14.4)	125 (11.9)	126 (11.9)	171 (16.5)
			5～10%未満	66 (10.8)	91 (9.2)	64 (6.1)	88 (8.3)	114 (11.0)
			10～20%未満	26 (4.3)	60 (6.1)	41 (3.9)	45 (4.3)	62 (6.0)
			20%以上	28 (4.6)	34 (3.5)	27 (2.6)	29 (2.7)	49 (4.7)
		減	5%未満	125 (20.5)	202 (20.5)	201 (19.1)	222 (21.0)	229 (22.1)
			5～10%未満	123 (20.2)	209 (21.2)	243 (23.1)	232 (22.0)	239 (23.1)
			10～20%未満	74 (12.1)	151 (15.3)	160 (15.2)	153 (14.5)	98 (9.5)
			20%以上	40 (6.6)	83 (8.4)	179 (17.0)	152 (14.4)	70 (6.8)
		N A	4 (0.7)	12 (1.2)	12 (1.1)	8 (0.8)	3 (0.3)	
		6 今 後 の 売 上 高 の 見 込 み	増	5%未満				191 (18.5)
				5～10%未満				64 (6.2)
				10～20%未満				27 (2.6)
				20%以上				9 (0.9)
			減	5%未満				271 (26.2)
				5～10%未満				270 (26.1)
				10～20%未満				121 (11.7)
	20%以上						72 (7.0)	
	N A				10 (1.0)			
	7 商 品 販 売 先 工 事 元 請 先 等 の 取 引 条 件	納期の短縮、支払サイトの変更等あった		51 (5.2)	49 (4.7)	38 (3.6)	42 (4.1)	
		元請等からの受注価格の引下げがあった		138 (14.0)	193 (18.3)	210 (19.9)	146 (14.1)	
		商品販売先から価格の引上げがあった		183 (18.6)	117 (11.1)	75 (7.1)	153 (14.8)	
あまり変化はなかった			550 (55.9)	645 (61.3)	692 (65.6)	645 (62.3)		
N A			62 (6.3)	48 (4.6)	40 (3.8)	49 (4.7)		

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
Ⅱ 営業 の 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	8 採 算 状 況 に つ い て	現 在	黒字	176	229	210	288	260
			(28.9)	(23.3)	(20.0)	(27.3)	(25.1)	
			収支とんとん	278	421	420	407	444
			(45.6)	(42.8)	(39.9)	(38.6)	(42.9)	
		赤字	150	323	406	349	318	
		(24.6)	(32.8)	(38.6)	(33.1)	(30.7)		
		NA	6	11	16	11	13	
		(1.0)	(1.1)	(1.5)	(1.0)	(1.3)		
		1 年 前 と 比 べ て	好転した	75	66	69	123	120
			(12.3)	(6.7)	(6.6)	(11.7)	(11.6)	
	変わらない		264	333	286	396	423	
	(43.3)		(33.8)	(27.2)	(37.5)	(40.9)		
	悪化した		233	503	600	461	381	
	(38.2)		(51.1)	(57.0)	(43.7)	(36.8)		
	わからない	14	31	31	36	34		
	(2.3)	(3.2)	(2.9)	(3.4)	(3.3)			
	N A	24	51	66	39	77		
	(3.9)	(5.2)	(6.3)	(3.7)	(7.4)			
	9 の よ う に な る と 思 う か	大変苦しくなる	33	87	122	76	49	
		(5.4)	(8.8)	(11.6)	(7.2)	(4.7)		
		苦しくなる	209	399	433	341	386	
		(34.3)	(40.5)	(41.2)	(32.3)	(37.3)		
		変わらない	281	333	312	408	417	
		(46.1)	(33.8)	(29.7)	(38.7)	(40.3)		
	楽になる	10	8	8	39	21		
	(1.6)	(0.8)	(0.8)	(3.7)	(2.0)			
	わからない	67	139	159	174	139		
(11.0)	(14.1)	(15.1)	(16.5)	(13.4)				
N A	10	18	18	17	23			
(1.6)	(1.8)	(1.7)	(1.6)	(2.2)				
10 資 金 繰 り が 苦 し く な る 原 因 は 何 ん で す か △ 2 つ 以 内 で 回 答 ▽	売上高が予定額に達しないため	173	299	420	311	292		
	(71.5)	(61.5)	(75.7)	(74.6)	(67.1)			
	売上利益が予定額に達しないため	110	271	296	213	225		
	(45.5)	(55.8)	(53.3)	(51.1)	(51.7)			
	受取手形が多くなるため	5	6	5	3	13		
	(2.1)	(1.2)	(0.9)	(0.7)	(3.0)			
	受取手形の期日が長くなるため	4	6	7	0	3		
	(1.7)	(1.2)	(1.3)	(0.0)	(0.7)			
	金融機関からの借入が円滑にできないため	11	27	49	29	29		
	(4.5)	(5.6)	(8.8)	(7.0)	(6.7)			
	借入返済額が大きいため	58	85	108	88	98		
	(24.0)	(17.5)	(19.5)	(21.1)	(22.5)			
	在庫品が増えるため	7	8	17	14	9		
(2.9)	(1.6)	(3.1)	(3.4)	(2.1)				
売上代金の回収が悪い ため	20	35	27	25	22			
(8.3)	(7.2)	(4.9)	(6.0)	(5.1)				
焦付、貸倒的売掛が 発生しているため	10	12	7	11	11			
(4.1)	(2.5)	(1.3)	(2.6)	(2.5)				
経費が増大しているため	36	147	73	46	62			
(14.9)	(30.2)	(13.2)	(11.0)	(14.3)				
その他	7	12	10	6	9			
(2.9)	(2.5)	(1.8)	(1.4)	(2.1)				
N A	2	4	5	8	4			
(0.8)	(0.8)	(0.9)	(1.9)	(0.9)				

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
Ⅲ 金 融 機 関 と の 取 引 及 び 借 入 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	11 今年6月末の預金高はどのくらい ありましたか	100万円未満 (19.0)	116 (18.6)	183 (20.4)	215 (23.0)	243 (23.3)	241 (23.3)
		100～300万円未満 (24.3)	148	230 (23.4)	264 (25.1)	252 (23.9)	232 (22.4)
		300～500万円未満 (16.9)	103	135 (13.7)	156 (14.8)	171 (16.2)	130 (12.6)
		500～1,000万円未満 (16.2)	99	134 (13.6)	168 (16.0)	140 (13.3)	171 (16.5)
		1,000～3,000万円未満 (13.3)	81	133 (13.5)	130 (12.4)	146 (13.8)	141 (13.6)
		3,000～5,000万円未満 (2.8)	17	54 (5.5)	38 (3.6)	35 (3.3)	47 (4.5)
		5,000～1億円未満 (3.1)	19	41 (4.2)	25 (2.4)	37 (3.5)	29 (2.8)
		1億円以上 (1.8)	11	37 (3.8)	21 (2.0)	9 (0.9)	19 (1.8)
		N A (2.6)	16	37 (3.8)	35 (3.3)	22 (2.1)	25 (2.4)
		12 昨年の6月と比べ、預金は増加しましたか	5%未満 (23.3)	142	126 (12.8)	132 (12.5)	210 (19.9)
	増 加	5～10%未満 (6.4)	39	47 (4.8)	66 (6.3)	68 (6.4)	71 (6.9)
		10～15%未満 (1.5)	9	17 (1.7)	20 (1.9)	16 (1.5)	19 (1.8)
		15～20%未満 (0.7)	4	10 (1.0)	10 (1.0)	15 (1.4)	8 (0.8)
		20%以上 (3.0)	18	42 (4.3)	29 (2.8)	29 (2.7)	42 (4.1)
		N A (3.9)	24	47 (4.8)	35 (3.3)	24 (2.3)	35 (3.4)
	減 少	5%未満 (29.3)	179	294 (29.9)	298 (28.3)	316 (30.0)	328 (31.7)
		5～10%未満 (17.2)	105	183 (18.6)	194 (18.4)	195 (18.5)	189 (18.3)
		10～15%未満 (4.4)	27	78 (7.9)	93 (8.8)	59 (5.6)	52 (5.0)
		15～20%未満 (2.1)	13	40 (4.1)	46 (4.4)	29 (2.7)	26 (2.5)
		20%以上 (8.2)	50	100 (10.2)	129 (12.3)	94 (8.9)	65 (6.3)
	13 今年6月末の借入額はどのくらい ありましたか	100万円未満 (5.2)	32	51 (5.2)	46 (4.4)	76 (7.2)	56 (5.4)
		100～300万円未満 (7.2)	44	84 (8.5)	113 (10.7)	138 (13.1)	122 (11.8)
		300～500万円未満 (10.0)	61	89 (9.0)	96 (9.1)	92 (8.7)	90 (8.7)
		500～1,000万円未満 (14.9)	91	105 (10.7)	134 (12.7)	127 (12.0)	117 (11.3)
		1,000～3,000万円未満 (26.4)	161	185 (18.8)	237 (22.5)	211 (20.0)	230 (22.2)
		3,000～5,000万円未満 (10.3)	63	102 (10.4)	116 (11.0)	108 (10.2)	92 (8.9)
		5,000～1億円未満 (6.4)	39	93 (9.5)	79 (7.5)	76 (7.2)	96 (9.3)
		1億円以上 (6.9)	42	92 (9.3)	62 (5.9)	48 (4.5)	60 (5.8)
		なし (10.5)	64	149 (15.1)	141 (13.4)	165 (15.6)	150 (14.5)
		N A (2.1)	13	34 (3.5)	28 (2.7)	14 (1.3)	22 (2.1)

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
Ⅲ 金 融 機 関 と の 取 引 及 び 借 入 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	14 現 在 の 借 入 先 は ど こ で す か	普通銀行 405 (66.4)	660 (82.4)	685 (77.6)	667 (76.1)	674 (78.1)	
	Λ多い順に3つV	(都市銀行)	13 (2.1)	34 (4.2)	19 (2.2)	20 (2.3)	18 (2.1)
		(地方銀行)	328 (53.8)	531 (66.3)	587 (66.5)	577 (65.9)	583 (67.6)
		(第二地方銀行)	64 (10.5)	95 (11.9)	79 (8.9)	70 (8.0)	73 (8.5)
		信用金庫	213 (34.9)	313 (39.1)	342 (38.7)	330 (37.7)	279 (32.3)
		信用組合	46 (7.5)	67 (8.4)	80 (9.1)	95 (10.8)	79 (9.2)
		日本政策金融公庫 (旧国金)	278 (45.6)	331 (41.3)	369 (41.8)	322 (36.8)	377 (43.7)
		日本政策金融公庫 (旧中小公庫)	20 (3.3)	43 (5.4)	61 (6.9)	84 (9.6)	60 (7.0)
		商工組合中央金庫	14 (2.3)	28 (3.5)	25 (2.8)	17 (1.9)	18 (2.1)
		農協	31 (5.1)	32 (4.0)	46 (5.2)	41 (4.7)	36 (4.2)
		その他	20 (3.3)	32 (4.0)	29 (3.3)	24 (2.7)	28 (3.2)
		N A	4 (0.7)	3 (0.4)	3 (0.3)	7 (0.8)	4 (0.5)
		15 借入額は 12月に 比べて	増えた	183 (30.0)	266 (33.2)	352 (39.9)	242 (27.6)
	Λ多い順に3つV	変わらない	175 (28.7)	245 (30.6)	230 (26.0)	240 (27.4)	213 (24.7)
		減った	182 (29.8)	285 (35.6)	299 (33.9)	388 (44.3)	396 (45.9)
		N A	70 (11.5)	5 (0.6)	2 (0.2)	6 (0.7)	4 (0.5)
		16 金利は 12月に 比べて	上がった	164 (26.9)	190 (23.7)	82 (9.3)	48 (5.5)
	Λ多い順に3つV	変わらない	351 (57.5)	577 (72.0)	709 (80.3)	735 (83.9)	717 (83.1)
下がった		16 (2.6)	25 (3.1)	81 (9.2)	78 (8.9)	91 (10.5)	
N A		79 (13.0)	9 (1.1)	11 (1.2)	15 (1.7)	13 (1.5)	
17 平均の 借入 利率は		2.0%未満	71 (11.6)	139 (17.4)	123 (13.9)	221 (25.2)	288 (33.4)
Λ多い順に3つV	2.0%~2.5%未満	263 (43.1)	387 (48.3)	501 (56.7)	457 (52.2)	421 (48.8)	
	2.5%~3.0%未満	126 (20.7)	170 (21.2)	169 (19.1)	108 (12.3)	90 (10.4)	
	3.0%~3.5%未満	38 (6.2)	42 (5.2)	45 (5.1)	38 (4.3)	24 (2.8)	
	3.5%~4.0%未満	14 (2.3)	27 (3.4)	15 (1.7)	13 (1.5)	11 (1.3)	
	4.0%~4.5%未満	9 (1.5)	4 (0.5)	3 (0.3)	5 (0.6)	0 (0.0)	
	4.5%以上	1 (0.2)	3 (0.4)	3 (0.3)	7 (0.8)	4 (0.5)	
	N A	88 (14.4)	29 (3.6)	24 (2.7)	27 (3.1)	25 (2.9)	
18 最近6 ヶ月 借入 申込み	申込した	279 (45.7)	408 (50.9)	458 (51.9)	389 (44.4)	412 (47.7)	
Λ多い順に3つV	申込しなかった	262 (43.0)	384 (47.9)	421 (47.7)	467 (53.3)	438 (50.8)	
	N A	69 (11.3)	9 (1.1)	4 (0.5)	20 (2.3)	13 (1.5)	

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
Ⅲ 金 融 機 関 と の 取 引 及 び 借 入 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	19 借入は満足できる ものでしたか	非常に満足した	62 (22.2)	99 (24.3)	109 (23.8)	109 (28.0)	111 (26.9)
		まあ満足した	190 (68.1)	257 (63.0)	254 (55.5)	216 (55.5)	253 (61.4)
		満足できなかった	18 (6.5)	37 (9.1)	75 (16.4)	46 (11.8)	40 (9.7)
		断られた	4 (1.4)	9 (2.2)	11 (2.4)	11 (2.8)	2 (0.5)
		N A	5 (1.8)	6 (1.5)	9 (2.0)	7 (1.8)	6 (1.5)
	20 貸し渋りを 感じるか	ある	34 (16.0)	68 (22.4)	97 (28.5)	70 (25.6)	65 (22.0)
		ない	173 (81.6)	229 (75.6)	237 (69.7)	201 (73.6)	220 (74.6)
		N A	5 (2.4)	6 (2.0)	6 (1.8)	2 (0.7)	10 (3.4)
	21 貸し渋りの内容 はなんですか Λ3つ以内でお 答えくださいV	金額査定減	13 (38.2)	27 (39.7)	46 (47.4)	57 (81.4)	34 (52.3)
		追加融資不可	14 (41.2)	28 (41.2)	35 (36.1)	38 (54.3)	36 (55.4)
		既往貸付の回収	13 (38.2)	10 (14.7)	14 (14.4)	16 (22.9)	18 (27.7)
		金利の上乗せ	7 (20.6)	11 (16.2)	8 (8.2)	17 (24.3)	5 (7.7)
		担保・保証人の強化	4 (11.8)	13 (19.1)	13 (13.4)	22 (31.4)	18 (27.7)
		保証協会の付保	10 (29.4)	26 (38.2)	32 (33.0)	47 (67.1)	47 (72.3)
		審査期間の長期化 審査資料の増加	5 (14.7)	17 (25.0)	23 (23.7)	18 (25.7)	35 (53.8)
		その他	1 (2.9)	6 (8.8)	2 (2.1)	0 (0.0)	4 (6.2)
		N A	0 (-)	0 (0.0)	6 (6.2)	0 (0.0)	2 (3.1)
	22 借りにくい・借 りられない理由 は	取引実績がない	0 (-)	2 (2.9)	1 (1.0)	1 (1.4)	1 (1.5)
		担保力がない	2 (5.9)	7 (10.3)	7 (7.2)	5 (7.1)	5 (7.7)
		しっかりした 保証人がいない	0 (-)	2 (2.9)	1 (1.0)	1 (1.4)	3 (4.6)
		取引実績が悪い	1 (2.9)	0 (0.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		借入残高が多い	24 (70.6)	20 (29.4)	36 (37.1)	29 (41.4)	30 (46.2)
		業績が思わしくない	7 (20.6)	29 (42.6)	41 (42.3)	32 (45.7)	20 (30.8)
		その他	0 (-)	1 (1.5)	3 (3.1)	1 (1.4)	2 (3.1)
		N A	0 (-)	7 (10.3)	7 (7.2)	1 (1.4)	4 (6.2)
	23 条件変更を 希望するか	希望する	95 (17.8)	175 (21.8)	224 (25.4)	203 (23.2)	168 (19.5)
		希望しない	434 (71.1)	596 (74.4)	635 (71.9)	656 (74.9)	675 (78.2)
N A		81 (13.3)	30 (3.7)	24 (2.7)	17 (1.9)	20 (2.3)	

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
Ⅲ 金 融 機 関 と の 取 引 及 び 借 入 状 況 に つ い て お た ず ね い た し ま す	24	元金返済の一時据置	15 (15.8)	26 (14.9)	41 (18.3)	48 (23.6)	41 (24.4)
	希望の条件変更は	返済期間の延長	42 (44.2)	98 (56.0)	114 (50.9)	94 (46.3)	78 (46.4)
		長期資金への切換	31 (32.6)	39 (22.3)	47 (21.0)	49 (24.1)	34 (20.2)
		担保等の軽減	2 (2.1)	8 (4.6)	6 (2.7)	5 (2.5)	3 (1.8)
		N A	5 (5.3)	4 (2.3)	16 (7.1)	7 (3.4)	12 (7.1)
		25	不良債権の発生	1 (1.1)	2 (1.1)	0 (0.0)	2 (1.0)
	何ですか 条件変更を希望する理由は	売上の急激な減少	32 (33.7)	65 (37.1)	104 (46.4)	96 (47.3)	52 (31.0)
		借入難	3 (3.2)	10 (5.7)	4 (1.8)	5 (2.5)	5 (3.0)
		借入返済額が過重	49 (51.6)	66 (37.7)	88 (39.3)	84 (41.4)	73 (43.5)
		取引条件の悪化	6 (6.3)	18 (10.3)	7 (3.1)	10 (4.9)	16 (9.5)
		経営外への資金流出	1 (1.1)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
		その他	0 (0.0)	8 (4.6)	2 (0.9)	1 (0.5)	4 (2.4)
		N A	3 (3.2)	5 (2.9)	19 (8.5)	5 (2.5)	13 (7.7)
		26	容易である	4 (4.2)	6 (3.4)	15 (6.7)	16 (7.9)
	条変の難易は	交渉次第で何とかなる	50 (52.6)	74 (42.3)	111 (49.6)	125 (61.6)	99 (58.9)
		難しい	35 (36.8)	85 (48.6)	74 (33.0)	53 (26.1)	43 (25.6)
		N A	6 (6.3)	10 (5.7)	24 (10.7)	9 (4.4)	18 (10.7)
	27	ある	22 (4.1)	24 (3.0)	43 (4.9)	24 (2.7)	24 (2.8)
	借金の返還の要求は	ない	515 (96.6)	758 (94.6)	819 (92.8)	842 (96.1)	824 (95.5)
		N A	73 (13.7)	19 (2.4)	21 (2.4)	10 (1.1)	15 (1.7)
	28	商工会	295 (55.3)	348 (43.4)	398 (45.1)	365 (41.7)	354 (41.0)
	経営悪化時の相談先 大きな問題が生じた時の相談先	県商工会連合会の相談窓口	3 (0.6)	5 (0.6)	8 (0.9)	14 (1.6)	5 (0.6)
		富山県新世紀産業機構	5 (0.9)	19 (2.4)	6 (0.7)	1 (0.1)	4 (0.5)
		民間金融機関	152 (28.5)	254 (31.7)	237 (26.8)	233 (26.6)	247 (28.6)
政府系金融機関		13 (2.4)	23 (2.9)	24 (2.7)	16 (1.8)	18 (2.1)	
親戚・友人・知人		36 (6.8)	62 (7.7)	44 (5.0)	64 (7.3)	55 (6.4)	
税理士				104 (11.8)	136 (15.5)	140 (16.2)	
その他		25 (4.7)	46 (5.7)	16 (1.8)	11 (1.3)	8 (0.9)	
N A		81 (15.2)	44 (5.5)	46 (5.2)	36 (4.1)	32 (3.7)	



区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
IV 借入計画についておたずねいたしませんか	29 今後1年間 借入計画	ある 160 (26.2)	279 (28.4)	305 (29.0)	278 (26.4)	281 (27.1)	
	ない 443 (72.6)	677 (68.8)	718 (68.3)	762 (72.2)	733 (70.8)		
	N A 7 (1.1)	28 (2.8)	29 (2.8)	15 (1.4)	21 (2.0)		
	30 設備資金の用途は何ですか	土地建物の取得	13 (8.1)	13 (4.7)	6 (2.0)	10 (3.6)	8 (2.8)
		工場・店舗等の補修・改修	26 (16.3)	44 (15.8)	53 (17.4)	34 (12.2)	51 (18.1)
		パソコン等のIT機器	2 (1.3)	12 (4.3)	16 (5.2)	15 (5.4)	7 (2.5)
		製造機器・ライン増設	14 (8.8)	37 (13.3)	21 (6.9)	32 (11.5)	19 (6.8)
		車両等の購入	25 (15.6)	43 (15.4)	52 (17.0)	54 (19.4)	59 (21.0)
		従業員の福利厚生施設の設置	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.4)
		公害防止関係設備	2 (1.3)	4 (1.4)	1 (0.3)	1 (0.4)	0 (0.0)
		新事業に取り組むための準備資金			20 (6.6)	20 (7.2)	23 (8.2)
		その他	1 (0.6)	16 (5.7)	13 (4.3)	14 (5.0)	10 (3.6)
		N A	77 (48.1)	108 (38.7)	123 (40.3)	97 (34.9)	103 (36.7)
		31 運転資金の用途は何ですか	商品・原材料の現金買い	25 (15.6)	61 (21.9)	50 (16.4)	54 (19.4)
	買掛・手形の決済		54 (33.8)	75 (26.9)	85 (27.9)	56 (20.1)	88 (31.3)
	諸経費の支払い、納税		35 (21.9)	66 (23.7)	77 (25.2)	70 (25.2)	55 (19.6)
	賞与・給与の支払い		12 (7.5)	28 (10.0)	35 (11.5)	21 (7.6)	19 (6.8)
	他の借入返済に充当		18 (11.3)	18 (6.5)	28 (9.2)	30 (10.8)	25 (8.9)
	新分野進出への準備資金		2 (1.3)	7 (2.5)	6 (2.0)	22 (7.9)	6 (2.1)
	N A		14 (8.8)	24 (8.6)	24 (7.9)	25 (9.0)	27 (9.6)
	32 借入の時、何を重視しますか Λ2つ以内で回答V	近くで便利	28 (17.5)	31 (11.1)	42 (13.8)	41 (14.7)	42 (14.9)
		金利が低い	106 (66.3)	196 (70.3)	185 (60.7)	188 (67.6)	228 (81.1)
		返済期間が手頃	34 (21.3)	60 (21.5)	71 (23.3)	77 (27.7)	124 (44.1)
		条件が有利	68 (42.5)	117 (41.9)	134 (43.9)	185 (66.5)	170 (60.5)
		サービスがよい	9 (5.6)	9 (3.2)	8 (2.6)	16 (5.8)	2 (0.7)
		経営上の相談・指導が得られる	26 (16.3)	40 (14.3)	54 (17.7)	130 (46.8)	99 (35.2)
		日ごろのつきあい	31 (19.4)	69 (24.7)	74 (24.3)	141 (50.7)	135 (48.0)
		その他	1 (0.6)	2 (0.7)	4 (1.3)	2 (0.7)	2 (0.7)
		N A	1 (0.6)	7 (2.5)	5 (1.6)	10 (3.6)	6 (2.1)

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
IV 借入計画について	33	業況の先行き見通し難	108 (67.5)	192 (68.8)	224 (73.4)	227 (81.7)	216 (76.9)
	借入の際何が懸念されますか Λ2つ以内で回答V	借入後の返済力	97 (60.6)	184 (65.9)	199 (65.2)	271 (97.5)	274 (97.5)
		不動産担保余力	1 (0.6)	9 (3.2)	6 (2.0)	7 (2.5)	7 (2.5)
		連帯保証人	22 (13.8)	22 (7.9)	27 (8.9)	23 (8.3)	41 (14.6)
		金融機関の対応	28 (17.5)	39 (14.0)	51 (16.7)	79 (28.4)	124 (44.1)
		信用保証協会の付保	9 (5.6)	14 (5.0)	36 (11.8)	107 (38.5)	71 (25.3)
		後継者難	4 (2.5)	15 (5.4)	7 (2.3)	24 (8.6)	22 (7.8)
		その他	0 (-)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	2 (0.7)
		特になし	13 (8.1)	15 (5.4)	8 (2.6)	26 (9.4)	8 (2.8)
		N A	3 (1.9)	9 (3.2)	4 (1.3)	10 (3.6)	6 (2.1)
		V 融資制度等についておたずねします	34	過去1年以内 融資制度の利用	ある 285 (46.7)	388 (39.4)	466 (44.3)
融資制度は経営に役に たっていますか	ない		316 (51.8)	567 (57.6)	538 (51.1)	594 (56.3)	581 (56.1)
	N A		9 (1.5)	29 (2.9)	48 (4.6)	17 (1.6)	21 (2.0)
	大変役にたっている		175 (61.4)	234 (60.3)	291 (62.4)	294 (66.2)	247 (57.0)
国・県・市町村の融資制度を 利用されなかった理由	まあ役にたっている		103 (36.1)	140 (36.1)	163 (35.0)	139 (31.3)	172 (39.7)
	あまり役にたっていない		4 (1.4)	6 (1.5)	6 (1.3)	5 (1.1)	11 (2.5)
	役にたっていない		3 (1.1)	3 (0.8)	4 (0.9)	4 (0.9)	1 (0.2)
	N A		0 (-)	5 (1.3)	2 (0.4)	2 (0.5)	2 (0.5)
	36		利用する必要がなかった	221 (69.9)	398 (70.2)	399 (74.2)	469 (79.0)
国の緊急保証 制度の活用	メリットがない		7 (2.2)	7 (1.2)	15 (2.8)	4 (0.7)	12 (2.1)
	手続きが面倒だから		28 (8.9)	26 (4.6)	28 (5.2)	25 (4.2)	31 (5.3)
	融資の条件に合致しないから		18 (5.7)	32 (5.6)	37 (6.9)	27 (4.5)	33 (5.7)
	制度融資を知らなかった		10 (3.2)	22 (3.9)	21 (3.9)	20 (3.4)	19 (3.3)
	その他		6 (1.9)	13 (2.3)	11 (2.0)	20 (3.4)	21 (3.6)
	N A	26 (8.2)	69 (12.2)	27 (5.0)	29 (4.9)	26 (4.5)	
	37	活用した			91 (8.7)	98 (9.3)	28 (2.7)
国の緊急保証 制度の活用	今後活用を検討			173 (16.4)	132 (12.5)	120 (11.6)	
	本制度の活用は予定していない			706 (67.1)	774 (73.4)	815 (78.7)	
	N A			82 (7.8)	51 (4.8)	72 (7.0)	

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度				
V 融資制度等について	38 県の活用について	活用した			147	133	94			
		今後活用を検討			(14.0)	(12.6)	(9.1)			
		本制度の活用は予定していない			192	177	165			
		N A			(18.3)	(16.8)	(15.9)			
	40 マル経融資制度改正	の活用について	融資限度額の増大			626	695	731		
			返済期間の延長			(59.5)	(65.9)	(70.6)		
		のメリットについて	特にメリットはない			87	50	45		
			N A			(8.3)	(4.7)	(4.3)		
		の活用について	金利の低減			276	235	309		
			N A			(26.2)	(22.3)	(29.9)		
VI 最近の諸制度についておたずねします	41 信用保証制度の	(1) 借入実行	借入した	111	311	446	396	384		
			借入はしていない	(18.2)	(31.6)	(42.4)	(37.5)	(37.1)		
			N A	475	567	510	587	572		
		(2) 手続きについて	円滑に融資が受けられた			24	106	96	72	79
			少し難しかった	(3.9)	(10.8)	(9.1)	(6.8)	(7.6)		
			円滑でなく難しかった			227	310	295	255	
			少し難しかった			66	115	84	107	
			N A			14	16	14	15	
	(3) 金融機関の審査が厳しくなった	融資の金利が高くなった			4	5	3	7		
		従来より提出書類が増え実行まで時間を要する			37	77	55	60		
		あまり変化はなかった			18	9	4	12		
		その他			67	120	90	96		
		N A			179	230	238	202		
		その他					1	6		
	43 中小企業支援	ネットワーク	関心があり			10	8	8		
			取組みの相談をした	(3.2)	(2.2)	(2.0)	(2.0)	(2.1)		
			内容に不明点があり説明を受けたい			53	86	71	47	
			現在のところ関心はない	(5.4)	(8.2)	(7.9)	(6.7)	(4.5)		
	43 中小企業支援	ネットワーク	関心があり			63	72	70		
			取組みの相談をした	(6.4)	(7.9)	(6.8)	(6.8)	(6.8)		
内容に不明点があり説明を受けたい					744	769	840	819		
現在のところ関心はない			(75.6)	(73.1)	(79.6)	(79.1)	(79.1)			
43 中小企業支援	ネットワーク	N A			124	114	99			
		N A	(12.6)	(10.8)	(6.8)	(9.6)				

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
VI 最 近 の 諸 制 度 に つ い て お た ず ね し ま す に つ い て	44	制度を利用した			45 (4.3)	64 (6.1)	69 (6.7)	
	緊急雇用助成金制度 の利用状況について	制度を知っているが 利用予定はない			175 (16.6)	175 (16.6)	157 (15.2)	
		今後利用を検討			55 (5.2)	56 (5.3)	33 (3.2)	
		詳細に知らず 今後利用を検討			103 (9.8)	116 (11.0)	95 (9.2)	
		詳細に知らないが 利用予定はない			540 (51.3)	534 (50.6)	563 (54.4)	
		その他			27 (2.6)	29 (2.7)	31 (3.0)	
		N A			107 (10.2)	81 (7.7)	87 (8.4)	
		45	原材料や商品等の 調達に支障があった					376 (36.3)
	東 日 本 大 震 災 の 影 響 に つ い て	(1) 営業への影響	風評被害や自粛ムード で売上等が減少した					168 (16.2)
			取引先の被災により 受注・売上が減少した					38 (3.7)
			その他					25 (2.4)
			影響はほとんどなかった					360 (34.8)
			N A					68 (6.6)
		(2) 資金繰りの影響	悪化した					181 (17.5)
			ほとんど変化はない					773 (74.7)
			好転した					6 (0.6)
			N A					75 (7.2)
		(3) 設備等の稼働状況	ほぼ平常通りに回復					282 (27.2)
	50%～80%程度						207 (20.0)	
	50%以下						25 (2.4)	
	ほとんど影響はなかった						441 (42.6)	
N A						80 (7.7)		